

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 8110

件名	海老名市立有馬小学校ほか1校屋内運動場外装改修工事 (再公告)	
履行場所	海老名市中河内1, 784番地ほか1か所	
工期	本契約締結日～令和9年1月22日	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○海老名市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に該当しますので、仮契約の締結(令和8年4月15日予定)になります。議会の議決を得た後、本契約として成立します。	
予定価格	171,380,000円 (税込)	155,800,000円 (税抜)
最低制限価格	有り (開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格(70%)未満の場合 ※ただし、予定価格(税込)100万円以下の案件は除く。	<p>低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。</p> <p>契約締結にあたっての制限等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B(75点)」以上である場合は除く。 ○ 技術者及び現場代理人の他案件(本市入札案件)との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可 ○ 前払金の制限(金額上限、中間前払金の制限など) 契約金額の20%以内(海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限りませす。) ※前払金の上限金額は5,000万円以下。中間前払金の支払いはありません。 <p>契約保証 契約金額の30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 金融機関又は保証事業会社の保証 (イ) 公共工事履行保証証券による保証 (履行ボンド) (ウ) 履行保証保険契約の締結 (定額てん補) 	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAXで受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	020 建築一式 又は 170 塗装 経審 700点以上 - 点未満 ※経審は最新の評価点で判断します。	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円(建築一式工事の場合は8千万円)以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第4区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く 本市発注の建築一式工事又は塗装工事において、過去5年間、工事評定で65点未満の工事がないこと。	
	落札件数制限	なし	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	

<p>事前提出書類 (システム添付)</p>	<p>参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。</p> <p>○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。(次の (1) ～ (3) のいずれか)</p> <p>(1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u></p> <p>(2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u>健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し</p> <p>(3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u>健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書</p>
<p>入札時提出 (システム添付)</p>	<p>○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。<u>システムへはPDF化して添付してください。</u></p>
<p>落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)</p>	<p>開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。)</p> <p>○契約保証に関する調書</p> <p>○配置技術者等に関する書類</p> <p>○建設業許可の確認できる書類</p>

海老名市立有馬小学校ほか1校屋内運動場外装改修工事

内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称 海老名市立有馬小学校ほか1校屋内運動場外装改修工事
2. 工 事 場 所 海老名市中河内1,784番地ほか1か所
3. 工 事 概 要 2層型の屋内運動場（1層：有馬小学校、2層：有馬中学校）の塗装、防水改修工事等を行うもの。
【工事概要】
・外壁改修工事 アスベスト含有仕上塗材除去、劣化部補修のうえ塗装改修ほか
・防水改修工事 外壁、屋上、庇、バルコニー等防水改修、ドレン改修ほか
・塗装改修工事 鉄骨階段、壁面ボックス、配管、折版庇屋根、鉄部塗装ほか
・建具改修工事 建具廻りシーリング打ち替え、一部建具改修ほか
・その他工事 設備機器一時撤去及び復旧等その他上記工事に伴う付帯工事一式
4. 工 事 期 間 契約締結日 から 令和9年1月22日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
(1)設 計 図 27 枚
(2)内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) 5 枚
6. 数 量 書 (1)数 量 書 19 枚
※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単事業	学校施設環境改善交付金	防災機能強化
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	<input checked="" type="checkbox"/> 市担当者 <input type="checkbox"/> 外部委託者		
(3)工程関係			
①工期内施設利用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		安全対策を施し、各関係者の安全確保を図ること
②関連工事、その他工事	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
③施工時期の制限	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	アスベスト除去工事は夏休み期間に行うこと	学校行事等に極力配慮すること。日曜、祝日は原則休工とする。
④施工時間の制限	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	児童及び生徒の登下校時間に配慮すること 施設運営に支障のないよう留意すること	・屋上防水工事に係る削孔作業等、その他音が出る作業を行う際は、児童及び生徒へ配慮し夏休み期間や授業時間外等を実施すること ・施工数量調査は夏休み期間前に完了させ、調査結果を市監督員及び監理者に報告すること
⑤協議未成立事項	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	景観条例	監理者の指示のもと、色見本板等の作成に協力すること

項 目	適 用	内 容 等	備 考
(4) 仮設関係			
①仮設計画	■ 有 □ 無	図示 (仮設計画図による)	受注者において、発注図の仮設計画図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること
②交通誘導員	■ 有 □ 無		
③工事用電力、水の利用	□ 有 ■ 無	受注者対応	【電気】仮設電気は既存施設からの供給は不可とする。新たに敷地内に引き込むか発電機等での対応とすること。 【水道】敷地内のメーターの本管側で分岐し、工事用のメーターを設けること。設置に当たっては、水道局と協議を行うこと。
④濁水・湧水処理における特別な対策等	□ 有 ■ 無		
(5) 支給品			
①支給品について	□ 有 ■ 無		
(6) 建設副産物関係			
①建設発生土	□ 有 ■ 無		
②建設副産物 建設廃棄物	■ 有 □ 無	石綿含有外壁塗材(レベル3)	
③その他 (特別産業廃棄物等)	□ 有 ■ 無		
(7) 各種調査、使用制限			
①各種調査	■ 有 □ 無	特記仕様書による	
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	■ 有 □ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること(F☆☆☆☆使用)
(8) 現場対応			
①現場照査等		事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に監理受託者及び市監督員と協議し、確認をとること	
②公衆災害		本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること	
③原形復旧		工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること	
(9) その他			
①適用基準等	■ 海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」1、適用図書による。 □		
②工事完成図書	■ 海老名市ホームページ-検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる ■ 海老名市ホームページ-営繕課担当事務 「営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③海老名環境マネジメントシステム		市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること	
④法定外の労災保険の加入		本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること。	
⑤施工時期の制限等		夏休み期間：令和8年7月18日から令和8年8月26日まで 部活動や学校行事等に極力配慮すること。	
⑥アスベスト除去作業		アスベスト除去作業は夏休み期間に行うこと。ただし、学校行事等に配慮する必要があることから全日作業できるものではない。 施設管理者、監督員等との協議により、隔離養生が不要な工法等で学校関係者の安全が確認される場合はこの限りではない。	
⑦施工数量調査		数量書の外壁補修数量は設計想定数量であるため、施工数量調査を実施のうえ、調査結果報告書を提出すること。	

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑
		②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等
②埋蔵文化財		
(6)景観	①その土地の現在の景観	
	②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観	
	③道路等、都市基盤施設がもたらす景観	
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源
		②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境
		②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系
		②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
③土木工事により影響を受ける地下水		
(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面	
(5)建設副産物	①排出土	
	②コンクリートガラ	
	③アスファルトガラ	
	④伐採材	
	⑤まだ使用可能な製品	
	⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず	
⑦不要木材		
⑧PCB等の毒性物質		
⑨その他の建設廃材		
(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源	
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼働による騒音
		②工事用車両走行による騒音
		③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音
		④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼働による振動
	②工事用車両走行による振動	
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響	
(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境	
	②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断	
	③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境	
	④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性	
	⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性	

□ 設計・施工時に配慮する事項

3. 建物建築・改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
搬出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-②③
型枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨・鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
木材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-②
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-③
内装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない（廃棄処分時に有害物質が発生する）。	2-(5)-⑧
	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-②
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-⑧
断熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和8年度

数量書

工事名称 海老名市立有馬小学校ほか1校屋内運動場外装改修工事

工事場所 海老名市中河内1,784番地ほか1か所

工期 契約締結日から令和9年1月22日まで

工事概要 2層型の屋内運動場（1層：有馬小学校、2層：有馬中学校）の塗装、防水改修工事等を行うもの。

【工事概要】

- ・外壁改修工事 アスベスト含有仕上塗材除去、劣化部補修のうえ塗装改修ほか
- ・防水改修工事 外壁、屋上、庇、バルコニー等防水改修、ドレン改修ほか
- ・塗装改修工事 鉄骨階段、壁面ボックス、配管、折版庇屋根、鉄部塗装ほか
- ・建具改修工事 建具廻りシーリング打ち替え、一部建具改修ほか
- ・その他工事 設備機器一時撤去及び復旧等その他上記工事に伴う付帯工事一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

建築工事		屋内運動場		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0001
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 設置期間190日 22m未満 - -	1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 設置期間190日 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0004
パルコー足場	建枠 600×1700 布枠500×1枚 設置期間190日 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0005
安全手すり	枠組本足場用(手すり先行方式) 設置期間190日	1	式			別紙 00-0006
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ポリエステル 設置期間190日 - -	1	式			別紙 00-0007
メッシュ張り	防災性能 JIS A 8952 II類 設置期間190日 - -	1	式			別紙 00-0008
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0009
計						

建築工事 細目別内訳

建築工事		屋内運動場		屋根改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
立馳	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	788	m ²			
硬質ウレタンフォーム	t=50	788	m ²			
改質アスファルトルーフィング	t=1.0	788	m ²			
調整材 硬質ポリスチレン板	三角加工	788	m ²			
軒先唐草 補強下地板t=0.8共	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	71.2	m			
軒先水切	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	71.2	m			
止面戸	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	71.2	m			
エブロン面戸	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	71.2	m			
棟包み	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	35.6	m			
けらば取合水切	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	46.2	m			
笠木包み	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	117.4	m			
堅樋廻り折板底補修		0.8	m ²			
計						

建築工事		屋内運動場		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【R階】						
床清掃		168	m ²			
下地調整	ポリマーセメントペースト 勾配調整	168	m ²			
ドレン撤去部補修	ポリマーセメントペースト	6	か所			
合成高分子系 ルーフィングシート防水	S-M2 機械固定工法 平場 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし シール材共	137	m ²			
合成高分子系 ルーフィングシート防水	S-F2 接着工法 塩化ビニル樹脂 表面塗装なし シール材共	31	m ²			
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装メーカー標準色	75	m ²			
立上 仮防水	ポリマーセメント系塗膜防水	31	m ²			
塩ビ鋼板取付	立上入隅	75	m			
塩ビ鋼板取付	側溝出隅	26	m			
塩ビ鋼板取付	側溝入隅	26	m			
押え金物取付	天端端末 (シール共)	22	m			
押え金物取付	アゴ 下端末	53	m			
脱気筒	ステンレス	3	か所			
ルーフトドレン	改修用 縦型	6	か所			

建築工事 細目別内訳

建築工事		屋内運動場		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
点検口	ウレタン塗膜防水、塩ビシート 複合法 (塩ビ被覆鋼板共)	1	か所			
【バルコニー】						
床清掃		61	m ²			
下地調整	ポリマーセメントペースト 勾配調整	61	m ²			
ドレン撤去部補修	ポリマーセメントペースト	5	か所			
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装メーカー標準色	61	m ²			
塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 表面塗装メーカー標準色 天端モルタル成型共	83	m ²			
ルーフトドレン	改修用 バルコニー中継用	5	か所			
バルコニー階段 塗膜防水	X-2 密着工法 防滑仕上 全面下地調整共	9	m ²			
【その他】						
梁型天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装メーカー標準色	16	m ²			
計						

建築工事		屋内運動場		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0001
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	212	m ²			
養生(外壁改修)		232	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	212	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		232	m ²			
計						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 設置期間190日 22m未満 - -	1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 設置期間190日 22m未満 - -	2,743	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

建築工事		屋内運動場		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 設置期間190日 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500×240 設置期間190日 12m未満 - -	270	m ²			
計						
ﾊﾞﾙｺﾆｰ足場	建枠 600×1700 布枠500×1枚 設置期間190日 12m未満 - -	1	式			別紙 00-0005
ﾊﾞﾙｺﾆｰ足場	建枠 600×1700 布枠500×1枚 設置期間190日 12m未満 - -	301	m ²			
計						
安全手すり	枠組本足場用(手すり先行方式) 設置期間190日	1	式			別紙 00-0006
安全手すり	枠組本足場用(手すり先行方式) 設置期間190日	232	m			
計						
小幡ネット張り (層間塞ぎ)	防災ﾌﾞﾘｰｽﾀｰﾙ 設置期間190日 -	1	式			別紙 00-0007
小幡ネット張り (層間塞ぎ)	防災ﾌﾞﾘｰｽﾀｰﾙ 設置期間190日 -	270	m			
計						

建築工事		屋内運動場		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
メッシュシート張り	防炎性能 JIS A 8952 II類 設置期間190日 -	1	式			別紙 00-0008
メッシュシート張り	防炎性能 JIS A 8952 II類 設置期間190日 -	3,314	m ²			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0009
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	3,013	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	301	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	232	m			
仮設材運搬 (小幅初)		270	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		3,314	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

アスベスト除去工事		アスベスト除去工事		アスベスト除去工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
本工事 (屋内運動場)		1	式			別紙 00-0010
RC面 仕上塗材・下地調整材 除去	集塵装置付超高压水洗工法 (100MPa以上)	1,460	m ²			
ALC面 仕上塗材・下地調整材 除去	集塵装置付ディスク・ラインター・ケレン工法	54.3	m ²			
土間養生 (足場最下部)	プラスチックシート 0.15mm 2重	1	式			
機械損料	吸引装置含む	1,514	m ²			
同時吸引廃材・廃水分別費	廃水はpH調整後現地処分	1,514	m ²			
廃棄物袋詰め	0.15mm 2重梱包	1,514	m ²			
安全衛生設備機器	真空掃除機、フィルター	1,514	m ²			
保護マスク・フィルター・保護カギ・手袋等		1,514	m ²			
諸経費	石綿作業主任者経費・法定福利費含む	1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	運搬・修理費含む 仮囲鉄板 H=3.0m t=1.2mm w=500 - 54.2m	1	式			
バリアゲート	W5.4XH4.5 1箇所 期間7か月	1	式			
B型バリアゲード	H1800 33台程度	1	式			
ラフレージーン	共用10日	1	式			
敷鉄板	設置・撤去・整備・運搬費共	108	m ²			
コーンバー	共用15日 カラーコーンH700 赤 20個 コーンウェイト ゴム製 20個 コーンバーL=2000 20本	1	式			
交通誘導員B		100	人			
VOC環境測定	施工前・施工後	1	式			別紙 00-0011
環境測定 (アスベスト)		1	式			別紙 00-0012
樹木伐採		1	式			別紙 00-0013
計						

海老名市立有馬小学校ほか 1 校屋内運動場外装改修工事

図番	図面名	縮尺 ()内はA3版	図番	図面名	縮尺 ()内はA3版
A-01	特記仕様書 (1)	NS	A-19	建具キープラン・建具表No.2	1/200・1/50 (1/400・1/100)
A-02	特記仕様書 (2)	NS	A-20	矩計詳細図	1/30 (1/60)
A-03	特記仕様書 (3)	NS	A-21	屋根廻り詳細図 No.1	1/5 (1/10)
A-04	特記仕様書 (4)	NS	A-22	屋根廻り詳細図 No.2	1/5 (1/10)
A-05	計画概要・案内図・配置図	1/500 (1/1000) NS	A-23	防水改修詳細図	1/30・1/10 (1/60・1/20)
A-06	外部仕上表・特記事項	NS	A-24	部分詳細図	1/30・1/20 (1/60・1/40)
A-07	1階平面図	1/100 (1/200)	A-25	屋外鉄骨階段参考図	1/30・1/10 (1/60・1/20)
A-08	2階平面図	1/100 (1/200)	A-26	仮設計画参考図	1/100 (1/200)
A-09	3階平面図	1/100 (1/200)			
A-10	4階平面図	1/100 (1/200)			
A-11	R階平面図	1/100 (1/200)			
A-12	南側立面図	1/100 (1/200)			
A-13	北側立面図	1/100 (1/200)			
A-14	東側立面図・西側立面図	1/100 (1/200)			
A-15	1階軒裏伏図	1/100 (1/200)			
A-16	2階軒裏伏図	1/100 (1/200)			
A-17	4階軒裏伏図	1/100 (1/200)			
A-18	建具キープラン・建具表No.1	1/200・1/50 (1/400・1/100)			



3 防水 改修 工事	9 ルーフトレイン	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ○ 改修用ドレイン ・ 横型	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ○ 改修用ドレイン ・ 横型
	10. アルミニウム製葺木	部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 板材折曲げ形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、葺木本体製作所の仕様による。 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種	部材の種類 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 押出 150形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、葺木本体製作所の仕様による。 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種
4 壁 改修 工事	11 防水保証	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、施工業者との連名の保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・防水業者が通常定めている期間として、作成し提出する。	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、施工業者との連名の保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・防水業者が通常定めている期間として、作成し提出する。
	1 ひび割れ部改修	・ コンクリート打放し仕上げ	・ コンクリート打放し仕上げ
4 壁 改修 工事	2 欠損部改修	・ シール工法 ※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ Uカットシール材充てん工法	・ シール工法 ※ シール工法 ※ 樹脂注入工法 ※ Uカットシール材充てん工法
	3 浮き部改修	○ モルタル塗り仕上げ	○ モルタル塗り仕上げ
4 外 壁 改修 工事	4 タイル張り	・ タイル張り仕上げ	・ タイル張り仕上げ
	5 塗り仕上げ外壁	○ 塗り仕上げ外壁	○ 塗り仕上げ外壁

4 外 壁 改修 工事	3 浮き部改修	○ モルタル塗り仕上げ	○ モルタル塗り仕上げ
	4 タイル張り	・ タイル張り仕上げ	・ タイル張り仕上げ
4 外 壁 改修 工事	5 塗り仕上げ外壁	○ 塗り仕上げ外壁	○ 塗り仕上げ外壁
	6 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理	・ 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理	・ 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理
5 建 具 改 修 工 事	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 製作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による)	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 製作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による)
	2. アルミニウム製建具	外部に面する建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ意で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100) ・ B 種 S-5 ・ C 種 S-6 A-4 W-5 ※100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 内部 建具 ※ C-1種 B-2種、C-2種の場合 ・ ブロンズカラー (※標準色、濃色) ・ ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H-2 ・ H-3 耐震ドアセット、耐震サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ D-1 ・ D-2 使用方法による区分 ※ 外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式 防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合皮樹脂 ・ スチス (SUS 316) ※ 合成樹脂 防鳥網 ※ ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm 外部に面する建具性能等級等 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-4 W-4 ・ B 種 S-5 W-5 ・ C 種 S-6 W-5 ※ 建具表による ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T-A種 ・ T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H-A種 ・ H-B種 表面色 ・ 標準色 (白) ・ 特注色 (黒・ブラウン・シルバー) 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が5.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区 分 種類 枠、方立、無目 <表16.3.2>に同じ 出入口 種類 一般部分 23 戸 中骨 23 上記以外 <表16.3.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 高気密型ドアセット ※ 使用する (適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 ・ 使用しない 戸の鋼板 ※ 表面処理を施した鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 標準型鋼製建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 表面処理 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ	外部に面する建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ意で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100) ・ B 種 S-5 ・ C 種 S-6 A-4 W-5 ※100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 内部 建具 ※ C-1種 B-2種、C-2種の場合 ・ ブロンズカラー (※標準色、濃色) ・ ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H-2 ・ H-3 耐震ドアセット、耐震サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ D-1 ・ D-2 使用方法による区分 ※ 外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式 防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合皮樹脂 ・ スチス (SUS 316) ※ 合成樹脂 防鳥網 ※ ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm 外部に面する建具性能等級等 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-4 W-4 ・ B 種 S-5 W-5 ・ C 種 S-6 W-5 ※ 建具表による ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T-A種 ・ T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H-A種 ・ H-B種 表面色 ・ 標準色 (白) ・ 特注色 (黒・ブラウン・シルバー) 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が5.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区 分 種類 枠、方立、無目 <表16.3.2>に同じ 出入口 種類 一般部分 23 戸 中骨 23 上記以外 <表16.3.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 高気密型ドアセット ※ 使用する (適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 ・ 使用しない 戸の鋼板 ※ 表面処理を施した鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 標準型鋼製建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 表面処理 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ
3 浮き部改修	○ モルタル塗り仕上げ	○ モルタル塗り仕上げ	
5 建 具 改 修 工 事	1. 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 製作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による)	改修工法 ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 製作 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 仮組 ※ 行わない ・ 行う (建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する (建具表による)
	2. アルミニウム製建具	外部に面する建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ意で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100) ・ B 種 S-5 ・ C 種 S-6 A-4 W-5 ※100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 内部 建具 ※ C-1種 B-2種、C-2種の場合 ・ ブロンズカラー (※標準色、濃色) ・ ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H-2 ・ H-3 耐震ドアセット、耐震サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ D-1 ・ D-2 使用方法による区分 ※ 外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式 防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合皮樹脂 ・ スチス (SUS 316) ※ 合成樹脂 防鳥網 ※ ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm 外部に面する建具性能等級等 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-4 W-4 ・ B 種 S-5 W-5 ・ C 種 S-6 W-5 ※ 建具表による ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T-A種 ・ T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H-A種 ・ H-B種 表面色 ・ 標準色 (白) ・ 特注色 (黒・ブラウン・シルバー) 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が5.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区 分 種類 枠、方立、無目 <表16.3.2>に同じ 出入口 種類 一般部分 23 戸 中骨 23 上記以外 <表16.3.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 高気密型ドアセット ※ 使用する (適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 ・ 使用しない 戸の鋼板 ※ 表面処理を施した鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 標準型鋼製建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 表面処理 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ	外部に面する建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ意で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、100) ・ B 種 S-5 ・ C 種 S-6 A-4 W-5 ※100 ※ 適用箇所は図示による 表面処理 外部に面する建具 ※ B-1種 内部 建具 ※ C-1種 B-2種、C-2種の場合 ・ ブロンズカラー (※標準色、濃色) ・ ステンカラー 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H-2 ・ H-3 耐震ドアセット、耐震サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ D-1 ・ D-2 使用方法による区分 ※ 外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式 防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合皮樹脂 ・ スチス (SUS 316) ※ 合成樹脂 防鳥網 ※ ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm 外部に面する建具性能等級等 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm) ・ A 種 S-4 A-4 W-4 ・ B 種 S-5 W-5 ・ C 種 S-6 W-5 ※ 建具表による ※ 適用箇所は図示による 防音ドアセット、防音サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T-A種 ・ T-B種 断熱ドアセット、断熱サッシ ※ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H-A種 ・ H-B種 表面色 ・ 標準色 (白) ・ 特注色 (黒・ブラウン・シルバー) 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が5.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板の厚さ 区 分 種類 枠、方立、無目 <表16.3.2>に同じ 出入口 種類 一般部分 23 戸 中骨 23 上記以外 <表16.3.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 高気密型ドアセット ※ 使用する (適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 ・ 使用しない 戸の鋼板 ※ 表面処理を施した鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない 標準型鋼製建具の小窓枠、がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製 簡易気密型ドアセット ※ 使用する (適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 ・ 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 表面処理 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ
5 建 具 改 修 工 事	3 網戸	・ 網戸	・ 網戸
	4. 樹脂製建具	・ 樹脂製建具	・ 樹脂製建具
5 建 具 改 修 工 事	5. 鋼製建具	・ 鋼製建具	・ 鋼製建具
	7. ステンレス製建具	・ ステンレス製建具	・ ステンレス製建具

5 建 具 改 修 工 事	8. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桧 銀板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 かまちは杉上小節程度 桧 銀板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型
	9. 建具用金物	金物の種類 型 式 製 造 所 モノロック 本締り付きモノロック シリンドラ箱錠 シリンドラ本締り錠 ドアクローザー フロアヒンジ ヒンジクローザー ビレットヒンジ レバーハンドル 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具 (標準型共)のドアクローザー、シリンドラ箱錠は公共工事標準型とする。 マスターキーの作成 性能 センサーの種類 凍結防止装置 全半開装置	金物の種類 型 式 製 造 所 モノロック 本締り付きモノロック シリンドラ箱錠 シリンドラ本締り錠 ドアクローザー フロアヒンジ ヒンジクローザー ビレットヒンジ レバーハンドル 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具 (標準型共)のドアクローザー、シリンドラ箱錠は公共工事標準型とする。 マスターキーの作成 性能 センサーの種類 凍結防止装置 全半開装置
5 建 具 改 修 工 事	10. 自動ドア開閉装置	・ 自動ドア開閉装置	・ 自動ドア開閉装置
	11. 重量シャッター	・ 重量シャッター	・ 重量シャッター
5 建 具 改 修 工 事	12. 軽量シャッター	・ 軽量シャッター	・ 軽量シャッター
	13. オーバーヘッドドア	・ オーバーヘッドドア	・ オーバーヘッドドア
5 建 具 改 修 工 事	14. ガラス	・ ガラス	・ ガラス

5 建 具 改 修 工 事	8. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 かまちは杉上小節程度 桧 銀板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 かまちは杉上小節程度 桧 銀板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型
	9. 建具用金物	金物の種類 型 式 製 造 所 モノロック 本締り付きモノロック シリンドラ箱錠 シリンドラ本締り錠 ドアクローザー フロアヒンジ ヒンジクローザー ビレットヒンジ レバーハンドル 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具 (標準型共)のドアクローザー、シリンドラ箱錠は公共工事標準型とする。 マスターキーの作成 性能 センサーの種類 凍結防止装置 全半開装置	金物の種類 型 式 製 造 所 モノロック 本締り付きモノロック シリンドラ箱錠 シリンドラ本締り錠 ドアクローザー フロアヒンジ ヒンジクローザー ビレットヒンジ レバーハンドル 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具 (標準型共)のドアクローザー、シリンドラ箱錠は公共工事標準型とする。 マスターキーの作成 性能 センサーの種類 凍結防止装置 全半開装置
5 建 具 改 修 工 事	10. 自動ドア開閉装置	・ 自動ドア開閉装置	・ 自動ドア開閉装置
	11. 重量シャッター	・ 重量シャッター	・ 重量シャッター
5 建 具 改 修 工 事	12. 軽量シャッター	・ 軽量シャッター	・ 軽量シャッター
	13. オーバーヘッドドア	・ オーバーヘッドドア	・ オーバーヘッドドア
5 建 具 改 修 工 事	14. ガラス	・ ガラス	・ ガラス



5 建具 改修 工事	14 ガラス	<p>ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット (可動アルミ製建具に限る)</p> <p>防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。</p> <p>ガラスの溝幅については、<表(5.13.1)>による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。</p> <p>複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。</p>																													
	15 ガラス ブロック (中空)	<table border="1"> <tr> <td>表面形状</td> <td>モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)</td> <td>厚さによる区分</td> </tr> <tr> <td>正方形</td> <td>・ 125×125 ・ 200×200</td> <td>・ 160×160 ・ 320×320</td> </tr> <tr> <td>長方形</td> <td>・ 250×125</td> <td>・ 80 ・ 95 ・ 125</td> </tr> </table>	表面形状	モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)	厚さによる区分	正方形	・ 125×125 ・ 200×200	・ 160×160 ・ 320×320	長方形	・ 250×125	・ 80 ・ 95 ・ 125																				
表面形状	モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)	厚さによる区分																													
正方形	・ 125×125 ・ 200×200	・ 160×160 ・ 320×320																													
長方形	・ 250×125	・ 80 ・ 95 ・ 125																													
6 内装 改修 工事	1 改修範囲	<p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲</p> <p>※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。</p> <p>・ 図示の範囲</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲</p> <p>※ 壁面より高側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。</p> <p>・ 図示の範囲</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修</p> <p>※ 既存のまま</p> <p>・ 図示の範囲</p>																													
	2 既存床の撤去 ・下地補修	<p>合成樹脂塗床の除去方法</p> <p>・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法</p>																													
	3 改修後の 床の清掃範囲	<p>当該塗床全体</p> <p>・ 図示の範囲</p>																													
	4 既存壁の撤去 ・下地補修	<p>間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修方法</p> <p>※ <4.9)>による</p>																													
	5 木 材	<p>表面仕上げの程度</p> <p>※ A種 ※ B種 ・ C種</p> <p>含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種</p> <p>造作材の材質の品質 ※ A種 ・ B種</p> <p>代用樹種を使用しない箇所</p> <p>※ なし ・ あり ()</p>																													
	6 集積材	<p>造作用集積材は<6.5.2(c)>による</p> <table border="1"> <tr> <td>見付け材</td> <td>JASによる集積材</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>等 級</td> <td>※ 1等 ・ 2等</td> <td>※ JAS集積材1等同等</td> </tr> </table> <p>基材の樹種</p> <table border="1"> <tr> <td>基材の厚さ(mm)</td> <td>10～15</td> <td>10～15</td> </tr> </table>	見付け材	JASによる集積材	その他	等 級	※ 1等 ・ 2等	※ JAS集積材1等同等	基材の厚さ(mm)	10～15	10～15																				
	見付け材	JASによる集積材	その他																												
	等 級	※ 1等 ・ 2等	※ JAS集積材1等同等																												
	基材の厚さ(mm)	10～15	10～15																												
	7 床張り用合板	<p>床下貼り用合板</p> <p>※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上</p> <p>()</p>																													
	8 防霉・防蟻 ・防虫処理	<p>薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理</p> <p>適用部位 () 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4</p> <p>薬剤の加圧注入処理を行った後、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理を行う。</p> <p>防虫処理</p> <p>ラワン材 保存処理性能区分 ※K1</p> <p>野縁などの種類</p> <table border="1"> <tr> <td>屋内</td> <td>※ 19型 ・ 25型 (室内)</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>※ 19型 ※ 25型</td> </tr> </table> <p>インサート</p> <p>・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験</p> <p>・ 行う ※ 行わない</p> <p>耐震性を考慮した補強</p> <p>※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)</p> <p>耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等)</p> <p>※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)</p>	屋内	※ 19型 ・ 25型 (室内)	屋外	※ 19型 ※ 25型																									
	屋内	※ 19型 ・ 25型 (室内)																													
	屋外	※ 19型 ※ 25型																													
	9 軽量鉄骨天井 下地材	<p>野縁などの種類</p> <table border="1"> <tr> <td>屋内</td> <td>※ 19型 ・ 25型 (室内)</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>※ 19型 ※ 25型</td> </tr> </table> <p>インサート</p> <p>・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験</p> <p>・ 行う ※ 行わない</p> <p>耐震性を考慮した補強</p> <p>※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)</p> <p>耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等)</p> <p>※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)</p>	屋内	※ 19型 ・ 25型 (室内)	屋外	※ 19型 ※ 25型																									
屋内	※ 19型 ・ 25型 (室内)																														
屋外	※ 19型 ※ 25型																														
10 軽量鉄骨 壁下地材	<p>スタッド、ランナーなどの種類は<表(6.7.1)>による。</p>																														
11 体育館の 鋼製床下地	<p>※ JIS A 6519のJIS表示認証製品</p>																														
12 ビニル床 シート張り	<p>JIS A5705のJIS表示認証製品</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>記号</td> <td>色柄</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>特殊機能</td> <td>工法</td> </tr> <tr> <td>※ 発泡層のないもの</td> <td>※ FS</td> <td>※ 無地</td> <td>※ 2.0</td> <td>・ 帯電防止</td> <td>※ 熱溶接</td> </tr> <tr> <td>・ 発泡層のあるもの</td> <td>・ TS</td> <td>・ マーブル</td> <td>・ 2.5</td> <td>・ 耐動荷重</td> <td>・ 突付け</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ HS</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ KS</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法	※ 発泡層のないもの	※ FS	※ 無地	※ 2.0	・ 帯電防止	※ 熱溶接	・ 発泡層のあるもの	・ TS	・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	・ 突付け		・ HS						・ KS				
種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法																										
※ 発泡層のないもの	※ FS	※ 無地	※ 2.0	・ 帯電防止	※ 熱溶接																										
・ 発泡層のあるもの	・ TS	・ マーブル	・ 2.5	・ 耐動荷重	・ 突付け																										
	・ HS																														
	・ KS																														
13 ビニル床 タイル張り	<p>JIS A5705のJIS表示認証製品</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>記号</td> <td>寸法</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>特殊機能</td> </tr> <tr> <td>※ コンポジション</td> <td>※ KT</td> <td>※ 300×300</td> <td>※ 2.0</td> <td>・ 帯電防止</td> </tr> <tr> <td>・ ビニル床タイル</td> <td>・ FT</td> <td>・ 300×300</td> <td>・ 2.0</td> <td>・ 耐動荷重</td> </tr> <tr> <td>・ ホモニアス</td> <td>・ FT</td> <td>・ 450×450</td> <td>・ 2.0</td> <td>・ 帯電防止</td> </tr> <tr> <td>・ ビニル床タイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 耐動荷重</td> </tr> </table>	種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	※ コンポジション	※ KT	※ 300×300	※ 2.0	・ 帯電防止	・ ビニル床タイル	・ FT	・ 300×300	・ 2.0	・ 耐動荷重	・ ホモニアス	・ FT	・ 450×450	・ 2.0	・ 帯電防止	・ ビニル床タイル				・ 耐動荷重					
種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能																											
※ コンポジション	※ KT	※ 300×300	※ 2.0	・ 帯電防止																											
・ ビニル床タイル	・ FT	・ 300×300	・ 2.0	・ 耐動荷重																											
・ ホモニアス	・ FT	・ 450×450	・ 2.0	・ 帯電防止																											
・ ビニル床タイル				・ 耐動荷重																											
14 ビニル床 タイル・ビニル 床シートの特 殊機能	<p>帯電防止</p> <p>・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 1.2～3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下</p> <p>・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 3.2～5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0.1×1010オーム未満</p> <p>・ 帯電防止性能評価 (JIS A 1445) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 0.1×107オーム未満</p>																														

6 内装 改修 工事	15 視覚障害者用 床タイル	<p>耐動荷重</p> <p>JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスト性試験等の試験後異常がないこと。</p>																																																																																																		
	16 ビニル幅木	<table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>寸 法 (mm)</td> </tr> <tr> <td>・ 塩化ビニル系</td> <td>・ セツ器瓦タイル系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>300×300</td> </tr> </table>	材 質	寸 法 (mm)	・ 塩化ビニル系	・ セツ器瓦タイル系		300×300																																																																																												
	材 質	寸 法 (mm)																																																																																																		
	・ 塩化ビニル系	・ セツ器瓦タイル系																																																																																																		
		300×300																																																																																																		
	17 カーベット 敷き	<table border="1"> <tr> <td>材 種</td> <td>※ 軟質</td> <td>・ 硬質</td> <td>・ 溶接</td> </tr> <tr> <td>高 さ (mm)</td> <td>・ 60</td> <td>※ 75</td> <td>・ 100</td> </tr> <tr> <td>厚 さ (mm)</td> <td>・ 1.5</td> <td>※ 2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ タフテッドカーベット</p> <table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>バイル形状</td> <td>バイル長さ (mm)</td> <td>工 法</td> <td>品 質</td> <td>帯 電 性</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※全面接着工法</td> <td></td> <td>・ <6.9.3(c)>による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ グリッパー工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ タイルカーベット</p> <table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>種 類</td> <td>バイル形状</td> <td>寸 法</td> <td>厚 さ</td> <td>帯電性</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※第1種</td> <td>※ルーフバイル</td> <td>※500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td>・ 製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 第2種</td> <td>・ カットバイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材 種	※ 軟質	・ 硬質	・ 溶接	高 さ (mm)	・ 60	※ 75	・ 100	厚 さ (mm)	・ 1.5	※ 2.0		施工箇所	バイル形状	バイル長さ (mm)	工 法	品 質	帯 電 性				※全面接着工法		・ <6.9.3(c)>による				・ グリッパー工法			施工箇所	種 類	バイル形状	寸 法	厚 さ	帯電性		※第1種	※ルーフバイル	※500×500	※ 6.5	・ 製造所の仕様による		・ 第2種	・ カットバイル																																																					
	材 種	※ 軟質	・ 硬質	・ 溶接																																																																																																
	高 さ (mm)	・ 60	※ 75	・ 100																																																																																																
	厚 さ (mm)	・ 1.5	※ 2.0																																																																																																	
	施工箇所	バイル形状	バイル長さ (mm)	工 法	品 質	帯 電 性																																																																																														
				※全面接着工法		・ <6.9.3(c)>による																																																																																														
				・ グリッパー工法																																																																																																
	施工箇所	種 類	バイル形状	寸 法	厚 さ	帯電性																																																																																														
		※第1種	※ルーフバイル	※500×500	※ 6.5	・ 製造所の仕様による																																																																																														
	・ 第2種	・ カットバイル																																																																																																		
18 合成樹脂塗床	<p>材料の種類</p> <p>・ 厚膜型塗床材</p> <p>・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材</p> <p>・ エポキシ樹脂系塗床材</p> <p>・ 薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材)</p> <p>仕上の種類</p> <p>・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ</p> <p>・ 単層フローリング</p> <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>樹 種</td> <td>厚 さ (mm)</td> <td>工 法</td> <td>塗 装</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>※ナラ</td> <td>※15 幅 75</td> <td>・ 釘止め工法</td> <td>※ウレタン樹脂</td> </tr> <tr> <td>・ ボード</td> <td>・</td> <td>・ 長さ500以上</td> <td>・ 接着工法</td> <td>ワニス塗り</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>※ナラ</td> <td>※15 303×303</td> <td>・ モルタル</td> <td>・ オイルステ</td> </tr> <tr> <td>・ ブロック</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>埋込み工法</td> <td>塗りの上</td> </tr> <tr> <td>・ モザイク</td> <td>※ナラ</td> <td>・ 6 ・ 8 ・ 9</td> <td></td> <td>・ フックス</td> </tr> <tr> <td>・ パーケット</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td>・ 生地のまま</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td>・ フックス</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 既塗装品</td> </tr> </table> <p>・ 複層フローリング</p> <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>樹 種</td> <td>種 別</td> <td>防 湿 処 理</td> <td>工 法</td> <td>塗 装</td> </tr> <tr> <td>※ 複合1種</td> <td>※ナラ</td> <td>・ A種</td> <td>・ 行う</td> <td>・ 釘止め工法</td> <td>※ウレタン樹脂</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>・ サクラ</td> <td>・ B種</td> <td>※行わ</td> <td>・ 接着工法</td> <td>ワニス塗り</td> </tr> <tr> <td>・ 複合2種</td> <td>・ ヒノキ</td> <td>※C種</td> <td>ない</td> <td></td> <td>・ オイルステ</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td>塗りの上</td> </tr> <tr> <td>・ 複合3種</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td>・ フックス</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>・ ナラ</td> <td>・</td> <td>・ 行う</td> <td>・ 特殊張り</td> <td>・ 生地のまま</td> </tr> <tr> <td>・ 大型積層</td> <td>・ サクラ</td> <td>・</td> <td>・ 行わ</td> <td>工 法</td> <td>・ フックス</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>ない</td> <td>(体育館床)</td> <td>・ 既塗装品</td> </tr> </table>	種 別	樹 種	厚 さ (mm)	工 法	塗 装	・ フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・ 釘止め工法	※ウレタン樹脂	・ ボード	・	・ 長さ500以上	・ 接着工法	ワニス塗り	・ フローリング	※ナラ	※15 303×303	・ モルタル	・ オイルステ	・ ブロック	・	・	埋込み工法	塗りの上	・ モザイク	※ナラ	・ 6 ・ 8 ・ 9		・ フックス	・ パーケット	・	・		・ 生地のまま	・	・	・		・ フックス					・ 既塗装品	種 別	樹 種	種 別	防 湿 処 理	工 法	塗 装	※ 複合1種	※ナラ	・ A種	・ 行う	・ 釘止め工法	※ウレタン樹脂	・ フローリング	・ サクラ	・ B種	※行わ	・ 接着工法	ワニス塗り	・ 複合2種	・ ヒノキ	※C種	ない		・ オイルステ	・ フローリング	・	・			塗りの上	・ 複合3種	・	・			・ フックス	・ フローリング	・ ナラ	・	・ 行う	・ 特殊張り	・ 生地のまま	・ 大型積層	・ サクラ	・	・ 行わ	工 法	・ フックス	・ フローリング	・	・	ない	(体育館床)	・ 既塗装品
種 別	樹 種	厚 さ (mm)	工 法	塗 装																																																																																																
・ フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・ 釘止め工法	※ウレタン樹脂																																																																																																
・ ボード	・	・ 長さ500以上	・ 接着工法	ワニス塗り																																																																																																
・ フローリング	※ナラ	※15 303×303	・ モルタル	・ オイルステ																																																																																																
・ ブロック	・	・	埋込み工法	塗りの上																																																																																																
・ モザイク	※ナラ	・ 6 ・ 8 ・ 9		・ フックス																																																																																																
・ パーケット	・	・		・ 生地のまま																																																																																																
・	・	・		・ フックス																																																																																																
				・ 既塗装品																																																																																																
種 別	樹 種	種 別	防 湿 処 理	工 法	塗 装																																																																																															
※ 複合1種	※ナラ	・ A種	・ 行う	・ 釘止め工法	※ウレタン樹脂																																																																																															
・ フローリング	・ サクラ	・ B種	※行わ	・ 接着工法	ワニス塗り																																																																																															
・ 複合2種	・ ヒノキ	※C種	ない		・ オイルステ																																																																																															
・ フローリング	・	・			塗りの上																																																																																															
・ 複合3種	・	・			・ フックス																																																																																															
・ フローリング	・ ナラ	・	・ 行う	・ 特殊張り	・ 生地のまま																																																																																															
・ 大型積層	・ サクラ	・	・ 行わ	工 法	・ フックス																																																																																															
・ フローリング	・	・	ない	(体育館床)	・ 既塗装品																																																																																															
19 フローリング 張り	<table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>樹 種</td> <td>厚 さ (mm)</td> <td>工 法</td> <td>塗 装</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>※ナラ</td> <td>※15 幅 75</td> <td>・ 釘止め工法</td> <td>※ウレタン樹脂</td> </tr> <tr> <td>・ ボード</td> <td>・</td> <td>・ 長さ500以上</td> <td>・ 接着工法</td> <td>ワニス塗り</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング</td> <td>※ナラ</td> <td>※15 303×303</td> <td>・ モルタル</td> <td>・ オイルステ</td> </tr> <tr> <td>・ ブロック</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>埋込み工法</td> <td>塗りの上</td> </tr> <tr> <td>・ モザイク</td> <td>※ナラ</td> <td>・ 6 ・ 8 ・ 9</td> <td></td> <td>・ フックス</td> </tr> <tr> <td>・ パーケット</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td>・ 生地のまま</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td>・ フックス</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 既塗装品</td> </tr> </table>	種 別	樹 種	厚 さ (mm)	工 法	塗 装	・ フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・ 釘止め工法	※ウレタン樹脂	・ ボード	・	・ 長さ500以上	・ 接着工法	ワニス塗り	・ フローリング	※ナラ	※15 303×303	・ モルタル	・ オイルステ	・ ブロック	・	・	埋込み工法	塗りの上	・ モザイク	※ナラ	・ 6 ・ 8 ・ 9		・ フックス	・ パーケット	・	・		・ 生地のまま	・	・	・		・ フックス					・ 既塗装品																																																						
種 別	樹 種	厚 さ (mm)	工 法	塗 装																																																																																																
・ フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・ 釘止め工法	※ウレタン樹脂																																																																																																
・ ボード	・	・ 長さ500以上	・ 接着工法	ワニス塗り																																																																																																
・ フローリング	※ナラ	※15 303×303	・ モルタル	・ オイルステ																																																																																																
・ ブロック	・	・	埋込み工法	塗りの上																																																																																																
・ モザイク	※ナラ	・ 6 ・ 8 ・ 9		・ フックス																																																																																																
・ パーケット	・	・		・ 生地のまま																																																																																																
・	・	・		・ フックス																																																																																																
				・ 既塗装品																																																																																																
20 畳敷き	<p>畳の種類</p> <p>・ A種 ・ B種</p> <p>※ C種 ・ D種</p>																																																																																																			
21 石こうボード その他ボード 張り	<table border="1"> <tr> <td>種類又は記号</td> <td>種別など</td> <td>厚 さ (mm)</td> <td>規格番号</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板)</td> <td>壁</td> <td>・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)</td> <td>JIS A 5430 (タイプ2)</td> </tr> <tr> <td>0.8FK又は1.0FK</td> <td>天井</td> <td>・ 6(不燃) ・ 12(不燃)</td> <td></td> </tr> </table> <p>グラスウール</p> <p>吸音ボード (吸音材料) GW-B</p> <p>銅線張り品</p> <p>ロックウール</p> <p>化粧吸音板 (吸音材料) DR</p> <table border="1"> <tr> <td>※ 内部用</td> <td>普通</td> <td>※ 9(不燃) ※ 12(不燃)</td> <td>JIS A 6301</td> </tr> <tr> <td>・ 軒天用</td> <td>立体</td> <td>※ 12(不燃) ※ 15(不燃) ※ 19(不燃)</td> <td></td> </tr> </table> <p>せっこうボード (せっこうボード製品)</p> <table border="1"> <tr> <td>壁</td> <td>・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)</td> <td>JIS A 6901</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> </table> <p>シーリング</p> <p>せっこうボード (せっこうボード製品)</p> <table border="1"> <tr> <td>壁</td> <td>・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)</td> <td>JIS A 6901</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> </table> <p>化粧せっこうボード (せっこうボード製品)</p> <table border="1"> <tr> <td>壁</td> <td>・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)</td> <td>JIS A 6901</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> </table> <p>化粧せっこうボード (せっこうボード製品)</p> <table border="1"> <tr> <td>壁</td> <td>・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)</td> <td>JIS A 6901</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> </table> <p>せっこうボードの目地処理</p> <p>・ 縦目地処理工法 ・ 突き付けV目地工法</p> <p>・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド</p> <p>目隠し工法</p>	種類又は記号	種別など	厚 さ (mm)	規格番号	けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板)	壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)	0.8FK又は1.0FK	天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)		※ 内部用	普通	※ 9(不燃) ※ 12(不燃)	JIS A 6301	・ 軒天用	立体	※ 12(不燃) ※ 15(不燃) ※ 19(不燃)		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)																																																								
種類又は記号	種別など	厚 さ (mm)	規格番号																																																																																																	
けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板)	壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)																																																																																																	
0.8FK又は1.0FK	天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)																																																																																																		
※ 内部用	普通	※ 9(不燃) ※ 12(不燃)	JIS A 6301																																																																																																	
・ 軒天用	立体	※ 12(不燃) ※ 15(不燃) ※ 19(不燃)																																																																																																		
壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901																																																																																																		
天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)																																																																																																			
壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901																																																																																																		
天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)																																																																																																			
壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901																																																																																																		
天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)																																																																																																			
壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901																																																																																																		
天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)																																																																																																			
22 壁紙張り																																																																																																				

6 内装 改修 工事	23. タイル張り	<p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th colspan="2">き じ</th> <th colspan="2">う 業</th> <th colspan="2">役 物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再 仕 材</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>磁器</th> <th>せつ器</th> <th>陶器</th> <th>無釉</th> <th>施釉</th> <th>あり</th> <th>なし</th> <th>標準</th> <th>注文</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う</p> <p>内装タイルの工法</p> <p>・ 横上げ張り 施工箇所 ()</p> <p>・ 接着剤張り 施工箇所 ()</p> <table border="1"> <tr> <td>種別</td> <td>石こう系</td> <td>セメント系</td> </tr> <tr> <td>塗厚</td> <td>※ 10mm</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法 (mm)	き じ		う 業		役 物		色		再 仕 材	備 考	磁器	せつ器	陶器	無釉	施釉	あり	なし	標準	注文			・	・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・	・		種別	石こう系	セメント系	塗厚	※ 10mm	
	施工箇所	形状寸法 (mm)			き じ		う 業		役 物		色				再 仕 材	備 考																																																	
			磁器	せつ器	陶器	無釉	施釉	あり	なし	標準	注文																																																						
			・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																						
			・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																						
			・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																						
	種別	石こう系	セメント系																																																														
	塗厚	※ 10mm																																																															
	24. セルフレ ベリング材塗り																																																																
	7 塗装 改修 工事	1. 防火材料	<p>※ 壁内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。</p> <p>・ 次の箇所を除き防火材料とする。()</p>																																																														
	2 錆止め 塗料塗り																																																																
	3. 合成樹脂適合 ペイント塗り (SOP)	<table border="1"> <tr> <td>下 地</td> <td>種 別</td> <td>下 地 調 整</td> <td>塗 装 種 別</td> <td>塗 料 種 別</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)</td> <td>※A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき</td> <td>新 規</td> <td>※RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※A種 ・ B種 ※C種</td> <td>※A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>鋼面</td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> </table>	下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別	鉄鋼面	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)	※A種 ※B種		塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ・ B種 ※C種	・ A種 ・ B種 ※C種	亜鉛めっき	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ※C種	※A種 ・ B種 ※C種	鋼面	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ・ B種 ※C種	・ A種 ・ B種 ※C種																																						
	下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別																																																												
	鉄鋼面	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)	※A種 ※B種																																																												
	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ・ B種 ※C種	・ A種 ・ B種 ※C種																																																													
亜鉛めっき	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ※C種	※A種 ・ B種 ※C種																																																													
鋼面	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ・ B種 ※C種	・ A種 ・ B種 ※C種																																																													
4. 合成樹脂 エマルション ペイント塗り (EP)	<table border="1"> <tr> <td>下 地</td> <td>種 別</td> <td>下 地 調 整</td> <td>塗 装 種 別</td> <td>塗 料 種 別</td> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>新 規</td> <td>※RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※A種(外部) ※B種(内部) ・ C種</td> <td>※1種 ※2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※A種 ※B種 ・ C種</td> <td>※1種 ※2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種</td> </tr> </table>	下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別	木部	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種(外部) ※B種(内部) ・ C種	※1種 ※2種		塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種	・ A種 ※B種 ・ C種	鉄鋼面	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ※B種 ・ C種	※1種 ※2種		塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種	・ A種 ※B種 ・ C種																																							
下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別																																																													
木部	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種(外部) ※B種(内部) ・ C種	※1種 ※2種																																																													
	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種	・ A種 ※B種 ・ C種																																																													
鉄鋼面	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ※B種 ・ C種	※1種 ※2種																																																													
	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種	・ A種 ※B種 ・ C種																																																													
5 耐水性塗料 塗り(DP)	<table border="1"> <tr> <td>下 地</td> <td>種 別</td> <td>下 地 調 整</td> <td>塗 装 種 別</td> <td>塗 料 種 別</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>※1種</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>押出成形</td> <td>新 規</td> <td>※RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>※1種</td> </tr> <tr> <td>セメント板面</td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>新 規</td> <td>※RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>※1種</td> </tr> <tr> <td>石膏ボード</td> <td>塗替え</td> <td>・ RA種 ※RB種 ・ RC種</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石こうボード</td> <td>新 規</td> <td>※RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>※A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>※1種</td> </tr> <tr> <td>その他の</td> <td>塗替え</td> <td>※RA種(縦目地処理工法) ※RB種(その他) ・ RC種</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボード等の面</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別	コンクリート面	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ・ C種	※1種	ALCパネル面	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種		押出成形	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ・ C種	※1種	セメント板面	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種		モルタル面	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ・ C種	※1種	石膏ボード	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種		石こうボード	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ・ C種	※1種	その他の	塗替え	※RA種(縦目地処理工法) ※RB種(その他) ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種		ボード等の面																		
下 地	種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗 料 種 別																																																													
コンクリート面	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ・ C種	※1種																																																													
ALCパネル面	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種																																																														
押出成形	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ・ C種	※1種																																																													
セメント板面	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種																																																														
モルタル面	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ・ C種	※1種																																																													
石膏ボード	塗替え	・ RA種 ※RB種 ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種																																																														
石こうボード	新 規	※RA種 ・ RB種 ・ RC種	※A種 ・ B種 ・ C種	※1種																																																													
その他の	塗替え	※RA種(縦目地処理工法) ※RB種(その他) ・ RC種	・ A種 ※B種 ・ C種																																																														
ボード等の面																																																																	
8 (鉄骨) 耐震 改修 工事	1. 鉄筋の種類	<p>■ 記載及び指示なき事項は構造設計特記仕様による</p> <table border="1"> <tr> <th>規 格 名 称</th> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>※ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ SD345</td> <td>※ D19以上</td> </tr> </table>	規 格 名 称	種類の記号	径 (mm)	鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下		※ SD345	※ D19以上																																																						
規 格 名 称	種類の記号	径 (mm)																																																															
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下																																																															
	※ SD345	※ D19以上																																																															
2. 溶接金網	<p>※ JIS G 3551のJIS表示認証製品</p> <p>線径 (mm) 6.0 × 網目 (mm) 100</p> <p>使用箇所 ()</p>																																																																
3. 鉄筋の継手	<p>径 19mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手</p> <p>・ 図示</p>																																																																
4. 柱の帯筋	<p>試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験</p>																																																																
5. 圧接完了後の 採取試験																																																																	
8 (鉄骨) 耐震 改修 工事	1. 設計基準強度	<p>普通コンクリート (N/mm²)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度</th> <th>適 用 箇 所</th> </tr> <tr> <td>※ 21</td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度	適 用 箇 所	※ 21																																																												
設計基準強度	適 用 箇 所																																																																
※ 21																																																																	
2. レディー ミクスト コンクリート	<p>類別 ※ I類 ・ II類</p>																																																																
3. 打放し 仕上げの種類	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適 用 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </table>	種 別	適 用 箇 所	・ A種		・ B種		・ C種																																																									
種 別	適 用 箇 所																																																																
・ A種																																																																	
・ B種																																																																	
・ C種																																																																	

6 内装 改修 工事	4. セメントの 種類	<p>※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p>														
	5. 骨 材	<p>細骨材の塩分含有量 (NaCl換算) ※ 0.04 %wt 以下</p>														
	6. 混和材料	<p>混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形1種</p>														
	7. 軽量 コンクリート	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適 用 箇 所</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。</p> <table border="1"> <tr> <th>適 用 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>	種 別	適 用 箇 所	気乾単位容積質量 (t/m ³)				適 用 箇 所							
	種 別	適 用 箇 所	気乾単位容積質量 (t/m ³)													
	適 用 箇 所															
	8. 無筋 コンクリート															
	9. 型 枠	<p>せき板の種類 ※ 合板</p> <p>せき板の塗料 ※ 無 ・ 有</p> <p>※ 流込み工法 ・ 圧入工法</p>														
	10. コンクリート の打込み工法	<p>既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示</p> <p>既存躯体の撤去範囲 ※ 図示</p>														
	11. 既存部分の 撤去															
	8 (鉄骨) 耐震 改修 工事	1. あと施工 アンカー	<p>※ 接着系アンカー (引張耐力 (KN) ・ せん断耐力 (KN))</p> <p>・ 接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系</p> <p>・ 金属系アンカー (引張耐力 (KN) ・ せん断耐力 (KN))</p> <p>・ 打込み方式 ※ 本体打込み式</p> <p>性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない</p>													
	2. あと施工 アンカーの 試験															
8 (鉄骨) 耐震 改修 工事	1. 鉄骨製作工場	<p>※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場</p> <p>・ S ・ H ・ M ・ R ・ J</p> <p>・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場</p>														
2. 鋼材の種類	<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td>・ SS400 ・ SSC400 ・ STK400 ・ STRK400</td> <td>JIS表示認証製品</td> </tr> <tr> <td>・ SN400B.C ・ SN490B.C ・ SM400 ・ SM490</td> <td></td> </tr> </table>	材 質	規 格	・ SS400 ・ SSC400 ・ STK400 ・ STRK400	JIS表示認証製品	・ SN400B.C ・ SN490B.C ・ SM400 ・ SM490										
材 質	規 格															
・ SS400 ・ SSC400 ・ STK400 ・ STRK400	JIS表示認証製品															
・ SN400B.C ・ SN490B.C ・ SM400 ・ SM490																
3. 高力ボルト	<table border="1"> <tr> <th>ボルト種別</th> <th>セットの種類</th> </tr> <tr> <td>※トルシア形高力ボルト</td> <td>※2種 (S10T)</td> </tr> <tr> <td>・ J1S形高力ボルト</td> <td>※2種 (F10T)</td> </tr> <tr> <td>・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト</td> <td>※1種 (F81相当)</td> </tr> </table>	ボルト種別	セットの種類	※トルシア形高力ボルト	※2種 (S10T)	・ J1S形高力ボルト	※2種 (F10T)	・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト	※1種 (F81相当)							
ボルト種別	セットの種類															
※トルシア形高力ボルト	※2種 (S10T)															
・ J1S形高力ボルト	※2種 (F10T)															
・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト	※1種 (F81相当)															
4. 溶接部の試験	<p>※超音波探傷試験</p> <p><7.3.2-3>による。</p>															
5. 錆び止め塗装																
6. 耐火被覆	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 質 及 び 工 法 製 造 所</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ ラス張モルタル</td> <td>改修標準仕様書6章15節による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材吹付け</td> <td>建築基準法に基づく指定</td> <td>※半乾式 ・ 湿式</td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td>又は認定を受けたもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	材 質 及 び 工 法 製 造 所	備 考	・ ラス張モルタル	改修標準仕様書6章15節による		・ 耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定	※半乾式 ・ 湿式	・ 耐火板張り	又は認定を受けたもの		・ 耐火材巻付け		
種 別	材 質 及 び 工 法 製 造 所	備 考														
・ ラス張モルタル	改修標準仕様書6章15節による															
・ 耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定	※半乾式 ・ 湿式														
・ 耐火板張り	又は認定を受けたもの															
・ 耐火材巻付け																
7. アンカー ボルト	<p>材質 ※SS400 ・ SNR400B</p>															
8. 既存部分の 撤去	<p>既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示</p> <p>既存躯体の撤去範囲 ※ 図示</p>															
8 (鉄骨) 耐震 改修 工事	1. 工 法	<p>・ 溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法</p> <p>・ 溶接金網の継ぎ手 ※ 重ね継ぎ手</p> <p>・ コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設</p> <p>・ 圧入工法 ・ 流込み工法</p> <p>・ 鋼板巻き工法</p> <p>・ 帯巻巻き付け工法</p> <p>・ 連続繊維補強工法</p> <p>製造所 ()</p> <p>引張強度試験及び付着強度試験</p> <p>・ 行う ・ 行わない</p>														
2. 既存部分の 撤去	<p>既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示</p> <p>既存躯体の撤去範囲 ※ 図示</p>															
8 (鉄骨) 耐震 改修 工事	1. グラウト材	<p>無収縮モルタル材は、製造所で調合された材料を使用する。</p> <p>圧縮強度 (N/mm²) : 30以上</p> <p>コンステンションJ ロータ値 (秒) : 6~10</p> <p>乾燥収縮 (×10⁻⁴) : 0</p>														
2. 柱底等の 均しモルタル	<p>無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない</p>															
3. スリットの 種類	<p>※ 完全スリット ・ 部分スリット</p>															
4. スリットの 充填材	<p>耐火材の使用 ・ 使用する ・ 使用しない</p> <p>適用箇所 ※ 図示</p> <p>適音材の使用 ・ 使用する ・ 使用しない</p> <p>適用箇所 ※ 図示</p>															



1 一般事項
石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)以下、「石綿則」という。)を遵守すること。
施工調査
行わない。
※ 行う (調査結果は図面に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)

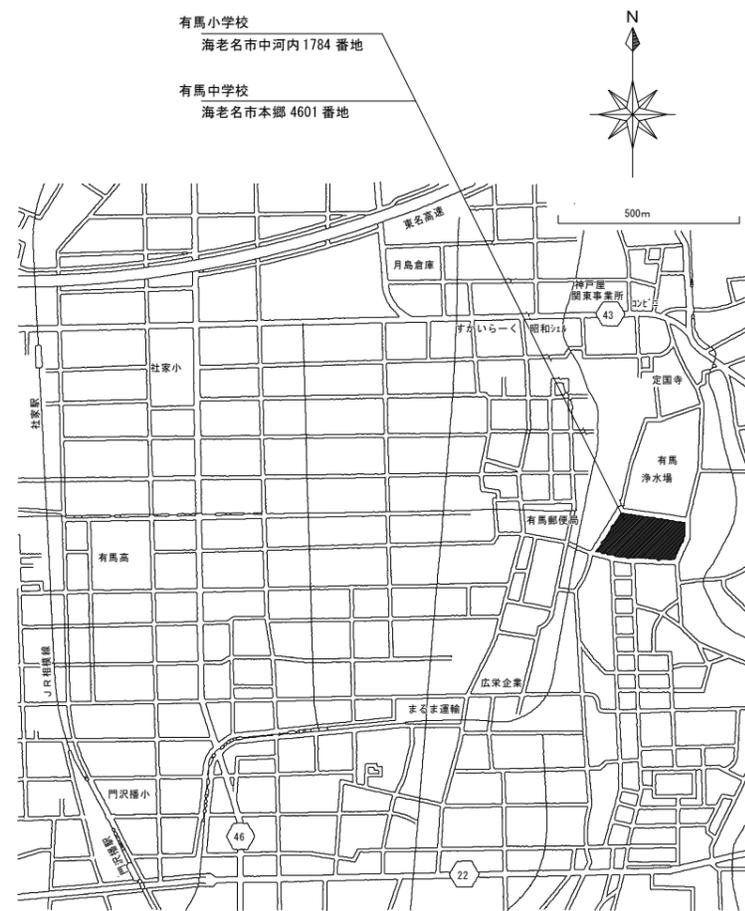
2 除去工事 共通事項
専門工事業者
アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督職員に提出する。
作業主任者の選出
石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。

5 アスベスト含有成形板の処理
アスベスト含有成形板の除去工事
○ 行う (適用範囲 ○ 図示 ○)
○ 行わない
養生
※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。
除去工法
※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

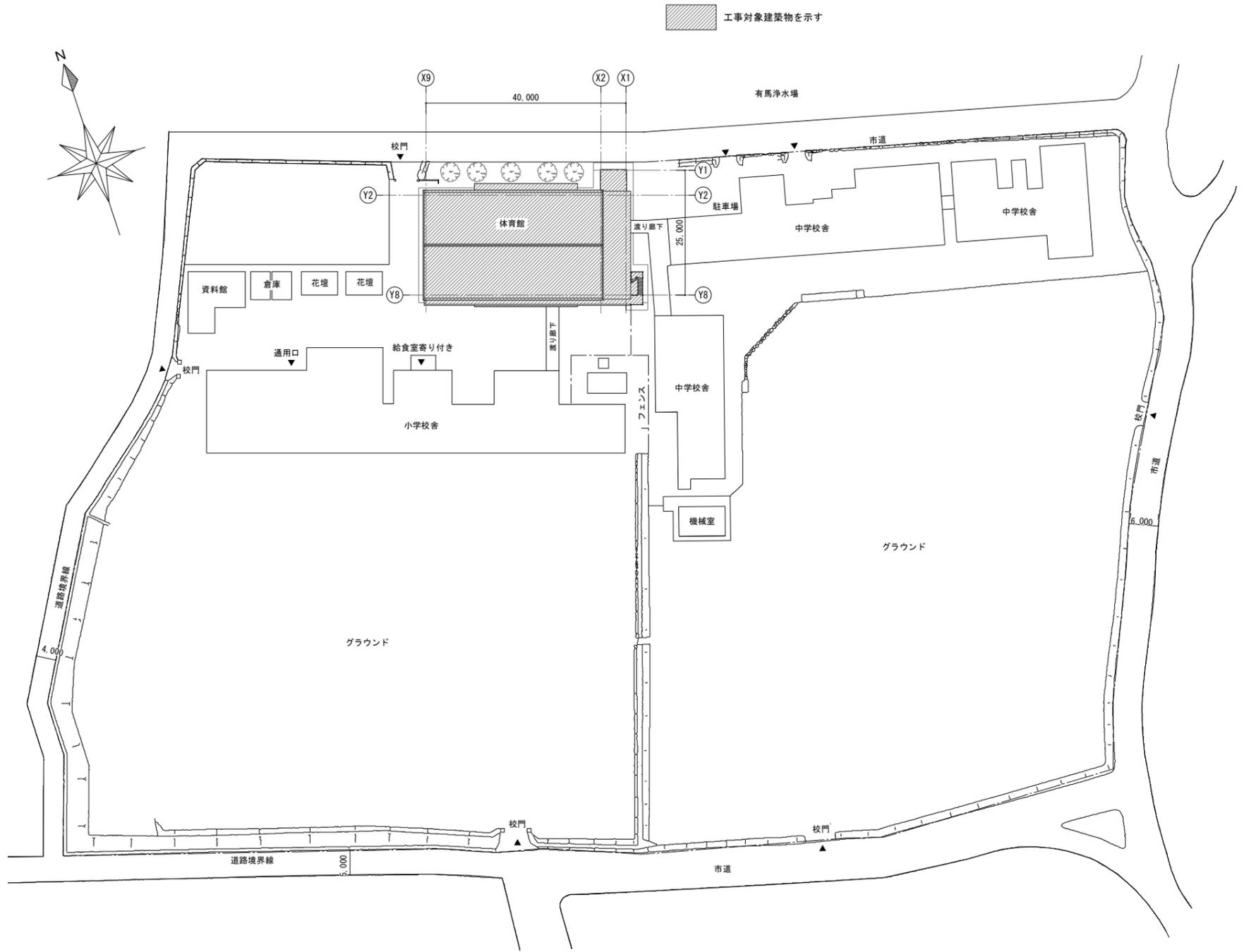
12 1. 再生材
2. 盛土材料
3. 遮断層及び凍上抑制層用材料
4. 路床土の支持力比(CBR)試験
5. 路床締固めの試験
6. 路盤材料
7. アスファルト舗装
8. コンクリート舗装
9. ブロック系舗装
10. 縁石及び側溝
11. 砂利敷き
12. 区画線
※ 使用する
路床の盛土材料
・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種
遮断層
※ 川砂・海砂又は良質な山砂
凍上抑制層
※ 再生クラッシュラン
※ 再生クラッシュラン RC-40
加熱アスファルト混合物の種類
表層
※ 再生密粒度アスファルト混合物(13)
・ 密粒度アスファルト混合物(13)
・ 細粒度アスファルト混合物(13)
基礎層
※ 再生粗粒度アスファルト混合物(20)
・ 粗粒度アスファルト混合物(20)
アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない
早強セメント ※ 使用する ※ 使用しない
溶接金網 ※ あり ※ なし
コンクリート平板舗装 ※ 砂目地
・ モルタル目地
インターロッキングブロック舗装
・ 舗石舗装 基礎層 ※ コンクリート舗装
・ アスファルト舗装
地盤の材料 ・ 再生クラッシュラン
A種(通路) ※ B種(建物周辺)
※ 3種1号白

計画概要

1. 工事場所	海老名市中河内1784番地 / 海老名市本郷4601番地	
2. 建物概要	棟名称	有馬小学校・有馬中学校 屋内運動場
	延べ面積	1894.24 m ²
	構造規模	1・2階 RC造 (小学校) 3・4階 S造 (中学校) 4階建て
	竣工年	昭和54年
3. 工事種目	海老名市立有馬小学校ほか1校屋内運動場外装改修工事 外壁改修工事 防水改修工事 塗装改修工事 その他工事	
4. 工事内容	外壁改修工事	既存仕上塗材仕上 (アスベスト除去) 劣化部補修の上塗装改修
	防水改修工事	屋上、屋根、バルコニー、建具・ガラス廻り
	塗装改修工事	屋外階段、庇、壁面ボックス、配管ほか
	その他工事	その他上記に伴う付帯工事一式



案内図 NS



配置図 S=1/500

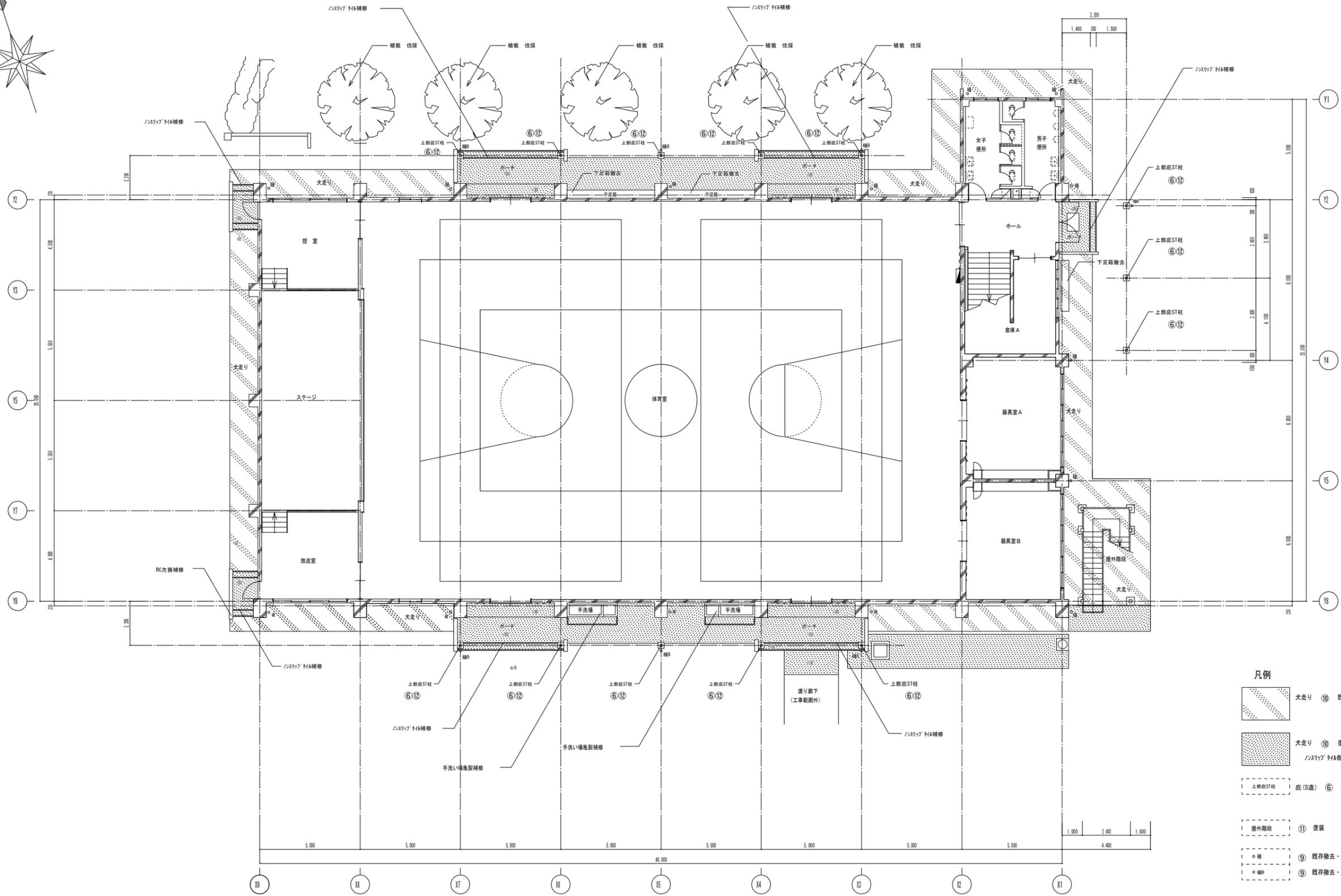


外部仕上表

		既 存	改 修	符号
屋根		仕上：亜鉛鉄板（塩ビ被覆）t=0.6 横葺き 仕上材・下地材、残置 ※ケラハ・笠木は撤去処分 下地：7577t7577t17kg・着色特殊シート板t=25	着色ケラハ・笠木鋼板t=0.5（立平葺き@340）ケラハ工法 ※ケラハ・笠木は新設（着色ケラハ・笠木鋼板t=0.5） 断熱材：硬質ウレタンフォームt=50（落とし込み） 防湿材：改質7577t7577t17kg・t=1.0	①
屋上	R階	平場・立上り：シート防水（S-M2）改修 ハコ部分：塗膜防水（X-2）改修	平場：合成高分子系膜防水シート防水工法、露出防水層非撤去、機械的工法（S-M2） 立上り（70°下まで）：合成高分子系膜防水シート防水工法、接着工法（S-F2） ハコ部分：ウレタン塗膜防水 密着工法（X-2）	②
	1階トイR階	平場・立上り：シート防水（S-M2）改修 ハコ部分上部巻込み、立上り天端防水端未用金具 ※金具撤去処分	平場：合成高分子系膜防水シート防水工法、露出防水層非撤去、機械的工法（S-M2）天端押え金具とも 立上り（天端まで）：合成高分子系膜防水シート防水工法、接着工法（S-F2）	
	共通	縦型ドレーン（計6ヶ所）撤去処分、脱気筒（計3ヶ所） ※撤去処分	縦型ドレーン（計6ヶ所）：新設・先付け納まり、脱気筒（計3ヶ所）新設	
バルコニー ※軒裏は庇・RC造と同じ		平場・立上り：塗膜防水t=5 中継用ドレーン（5ヶ所）撤去処分	平場・立上り：ウレタン塗膜防水工法、露出防水層非撤去、密着クロス挿入工法（X-2） 中継用ドレーン（5ヶ所）新設・先付け納まり	③
外壁	RC造	モルタル補修のうえ複層塗材E吹付 ※7577t7577t17kg含有仕上塗材 【図示】	吹付材除去：集塵装置付き超高压水洗工法（100MPa以上） 下地調整のうえ防水形複層塗材E吹付	④
	S造（ALC）	モルタル補修のうえ複層塗材E吹付 ※7577t7577t17kg含有なし	下地調整のうえ防水形複層塗材E吹付	⑤
		※7577t7577t17kg含有仕上塗材 【図示】	吹付材除去：集塵装置付きデイスクリン工法 下地調整のうえ防水形複層塗材E吹付	⑤'
共通 RC立上り	モルタル補修のうえ複層塗材E吹付 ※7577t7577t17kg含有仕上塗材 【図示】	吹付材除去：集塵装置付き超高压水洗工法（100MPa以上） 下地調整のうえ防水形複層塗材E吹付	④	
庇	RC造	モルタル補修のうえ複層塗材E吹付 ※7577t7577t17kg含有仕上塗材 【図示】	吹付材除去：集塵装置付き超高压水洗工法（100MPa以上） 下地調整のうえ外装薄塗材E吹付	④'
	S造	軽量鉄骨フレーム（柱建て、水平ブレース） ケー鋼板t=0.8折板H=150	高压洗浄（15～30MPa程度） 下地処理 錆止め塗料塗り 軽量鉄骨フレーム：耐候性塗料（DP）塗り 折板：耐候性塗料（DP）塗り	⑥
軒裏 （ハコニ含む）	RC造	モルタル補修のうえ複層塗材E吹付 ※7577t7577t17kg含有吹付材 【図示】	吹付材除去：集塵装置付き超高压水洗工法（100MPa以上） 下地調整のうえ外装薄塗材E吹付	④'
	S造	硬質木片セメント板t12 複層塗材 E ※撤去処分 7577t7577t17kg含有成形板とみなす	硬質木毛セメント版新設 外装薄塗材E吹付	⑦
		ケー鋼板t=0.8折板H=150（裏面）	高压洗浄（15～30MPa程度） 下地処理 錆止め塗料 耐候性塗料（DP）塗り	⑦'
建具		鋼製建具：スチール・OP塗装、7577t7577t17kg付処理	スチール製：塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料（DP）塗り 7577t7577t17kg製：建具調整（一部クレン交換）、内外清掃（ガラスとも） 鋼製建具廻り：シーリング材打ち替えMS-2 ※スチール製および7577t7577t17kg製建具のガラス廻りを含む ガラス面：飛散防止フィルムまたは遮熱フィルム貼り【建具表参照】 ガラス交換（外部のみ）SR-1	⑧
樋	縦樋	【樋A】 硬質塩ビ管φ100、保護管（白ガス管）φ125 支持金物@1.500内外 OP塗装 ※撤去処分 【樋B】 硬質塩ビ管φ100 支持金物@1.200内外 VP塗装 ※撤去処分	【樋A】 硬質塩ビ管φ100、保護管（白ガス管）φ125新設（支持金物共） 【樋B】 硬質塩ビ管φ100（ケー） 新設（支持金物共）	⑨
	軒樋	【樋A】 耐酸被覆鋼板t=0.5 防塵金網 【樋B】 硬質塩ビ製W150内外 支持金物@450内外 ※撤去処分	【樋A】 耐候性塗料（DP）塗り 防塵金網 撤去・新設 【樋B】 硬質塩ビ製W150内外（ケー） 既存支持金物：塗膜除去・下地処理・錆止め塗料塗・耐候性塗料（DP）塗り	
犬走り		モルタル金ゴテ押え 目地切り 一部防塵塗装	既存塗装箇所：下地処理のうえ溶剤系アクリル樹脂塗料（防汚仕様）【図示】 上記以外：清掃	⑩
鉄骨階段		鉄骨フレーム 444stPL-12×350 段板chPL-4.5（30+290+30） 踊場ChPL-4.577kg補強 手摺H=1.150（手摺φ48.6 手摺子φ16@235内外 手摺子受φ27.2 手摺支柱φ48.6）	高压洗浄（15～30MPa程度） 下地処理 錆止め塗料塗 耐候性塗料（DP）塗り	⑪
その他	S造柱脚	RC根巻き、モルタル金鏝	欠損部・ひび割れ部改修【図示】	⑫
	壁面設備	300×300×D200	塗膜除去 下地処理 錆止め塗料塗り 耐候性塗料（DP）塗り ※取外し取付	⑬
	水切り	ケー鉄板加工	高压洗浄（15～30MPa程度） 下地処理 錆止め塗料 耐候性塗料（DP）塗り	
	シーリング	打継目地・伸縮目地・耐震シート・ALC板間目地	シーリング材打ち替え PU-2（10×10）	
	欠損・腐朽部	各所各仕様		

特記事項

<p>(1) 外壁のコンクリート面・モルタル面等のひび割れ、浮き、爆裂、欠損部は改修を行う。以下によらない場合は監督員等との協議を行う。</p> <p>(2) 浮き部分：アンカーボルト部分エポキシ樹脂注入工法（16本/m²） 爆裂部：エポキシ樹脂モルタル充填工法（鉄筋防錆処理含む）、一部 外壁複合改修ボルト工法【図示】 ひび割れ、0.2mm以上1.0mm以下：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ひび割れ、1.0mm超：Uカット充填工法 ひび割れ、貫通部分：シーリング注入 欠損部：セメントモルタル充填工法（深さ30mm程度を超える欠損はエポキシ樹脂モルタル充填工法とする）</p> <p>(3) 既存防水下地の異物等はケレンし全面清掃する。防水下地調整材は平場・立上りともセメント系とす。</p> <p>(4) シート防水施工箇所はデイスクリンの引抜試験を実施する。</p> <p>(5) シート防水の機械固定デイスクリンの配置は施工図・計算書を提出のうえ、監督員等の承諾を受ける。</p> <p>(6) ドレーン・中継用ドレーン：改修用を設置（キャップとも）する。改修用ドレーンの設置に支障となる部分を撤去する。ドレーン廻りの不陸が大きい場合はセメントモルタル等で補修する。</p> <p>(7) 外壁の打継目地・伸縮目地及び防水保護層の伸縮目地は撤去し、シリコン系シーリング材を充填する。</p> <p>(8) 軒裏（庇、屋外階段等）の仕上塗材は鉄部を除き外装用薄塗材Eとする。</p> <p>(9) 設備配管等支持金物は再塗装をする。また、設備配管は既存利用するため、シート防水の施工に影響がある範囲はシヤキワッパし対応する。</p> <p>(10) 建具廻りシーリング材は撤去し、変成シリコン系シーリング材を充填する。</p> <p>(11) 建具ガラス・ガラスは外装改修後、清掃（両面）を行う。</p> <p>(12) 外装部に設置されている設備および支持金物は、再塗装（下地調整、錆止め、DP1級）を行う。SUS製のものは塗装せず清掃をおこなう。</p> <p>(13) 7577t7577t17kg含有建材の撤去は、関係法令、マニュアル、関係官庁指導により必要な隔離や養生及び設備を設置し、適切に撤去処分すること。</p>



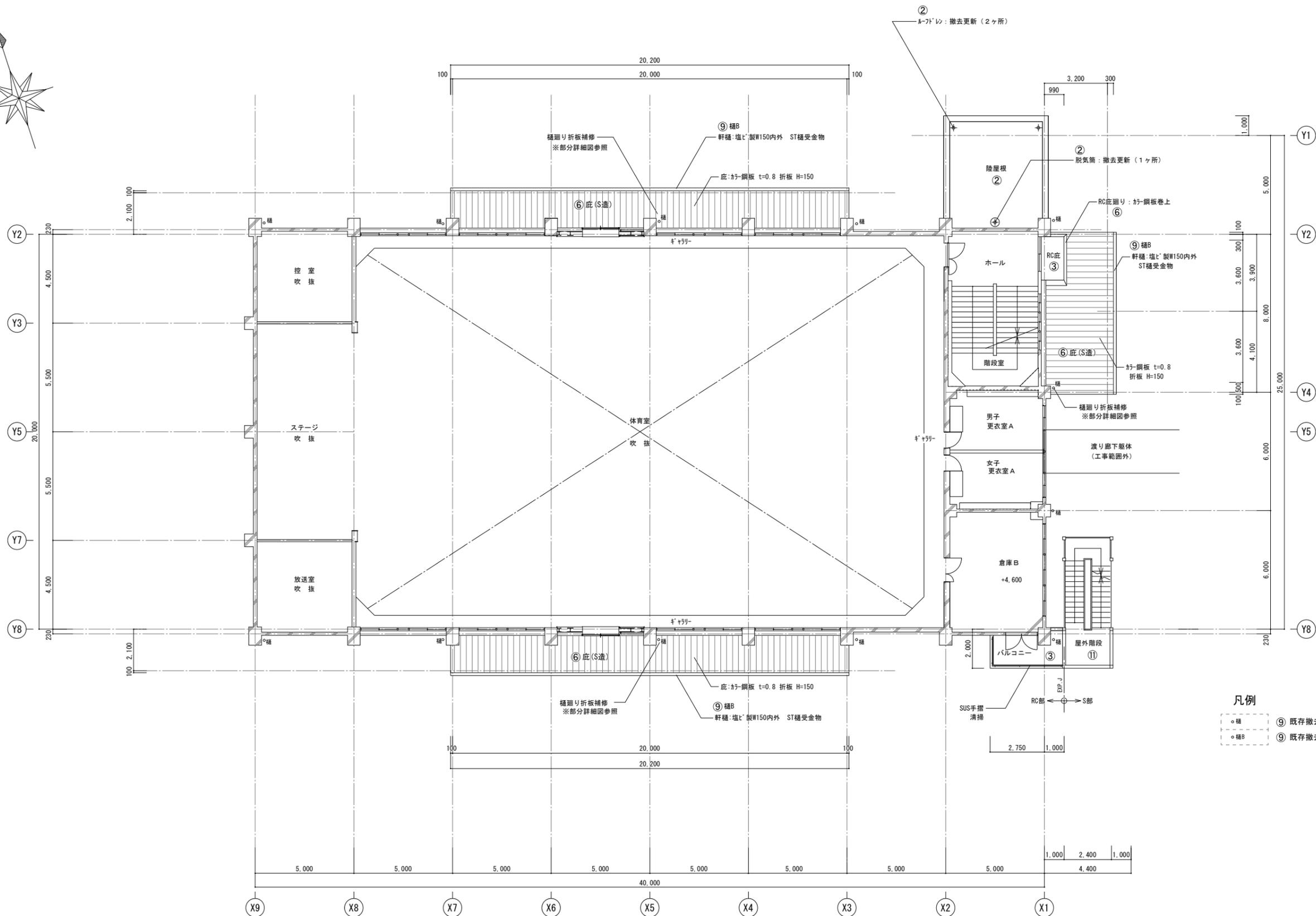
- 凡例**
- 大走り ⑩ 既存のまま・清掃
 - 大走り ⑩ 塗床
 - スリット ⑩ 部分補修 (部分詳細図参照)
 - 上部底ST柱 ⑥ 塗装
 - 屋外階段 ⑪ 塗装
 - ⑨ 既存撤去・新設
 - ⑨ 既存撤去・新設

1階平面図 S=1/100

海老名市
Ebina City



図面名称	1階平面図	図面番号	A-07
縮尺	1/100 (1/200)		
件名	海老名市立有馬小学校ほか1校屋内運動場外装改修工事		



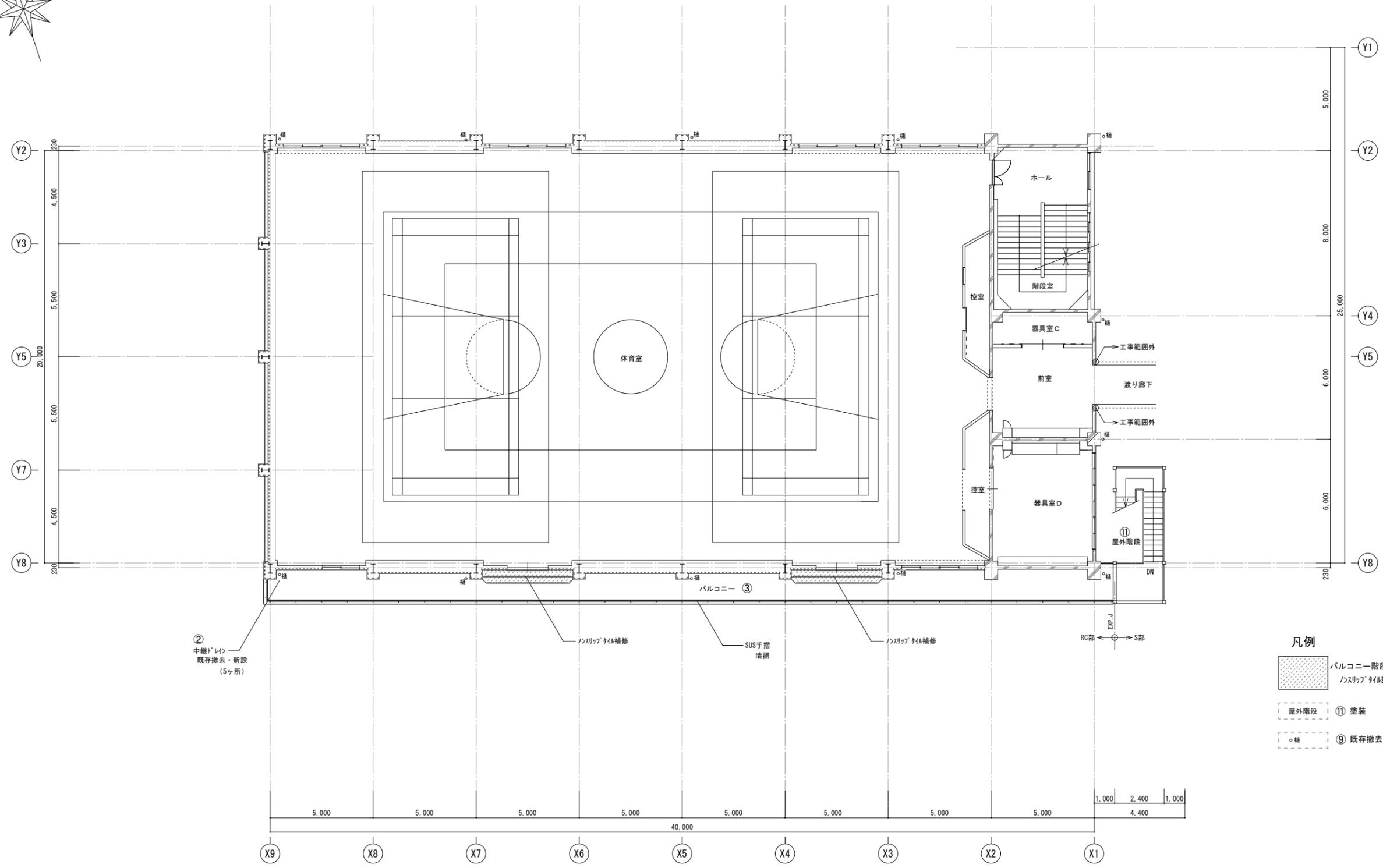
2階平面図 S=1/100

海老名市
Ebina City



図面名称 2階平面図
縮尺 1/100 (1/200)
件名 海老名市立有馬小学校ほか1校屋内運動場外装改修工事

図面番号
A-08



② 中継ドレン
既存撤去・新設
(5ヶ所)

ノスリタイル補修

SUS手摺
清掃

ノスリタイル補修

- 凡例
- バルコニー階段部 ③ + 骨材散布+上塗り
ノスリタイル部分補修 (部分詳細図参照)
 - 屋外階段 ⑪ 塗装
 - ⑨ 既存撤去・新設

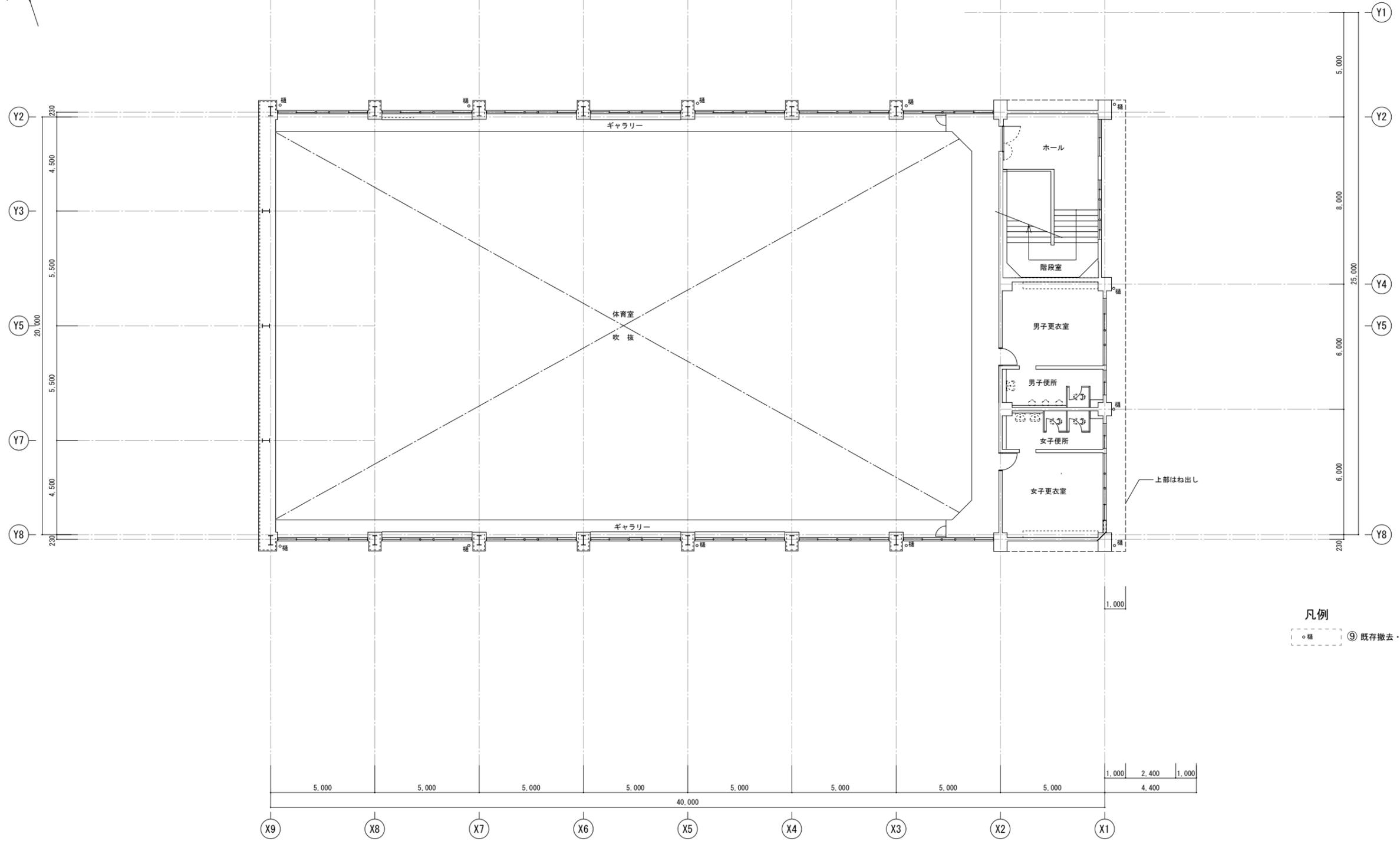
3階平面図 S=1/100

海老名市
Ebina City



図面名称 3階平面図
縮尺 1/100 (1/200)
件名 海老名市立有馬小学校ほか1校屋内運動場外装改修工事

図面番号
A-09

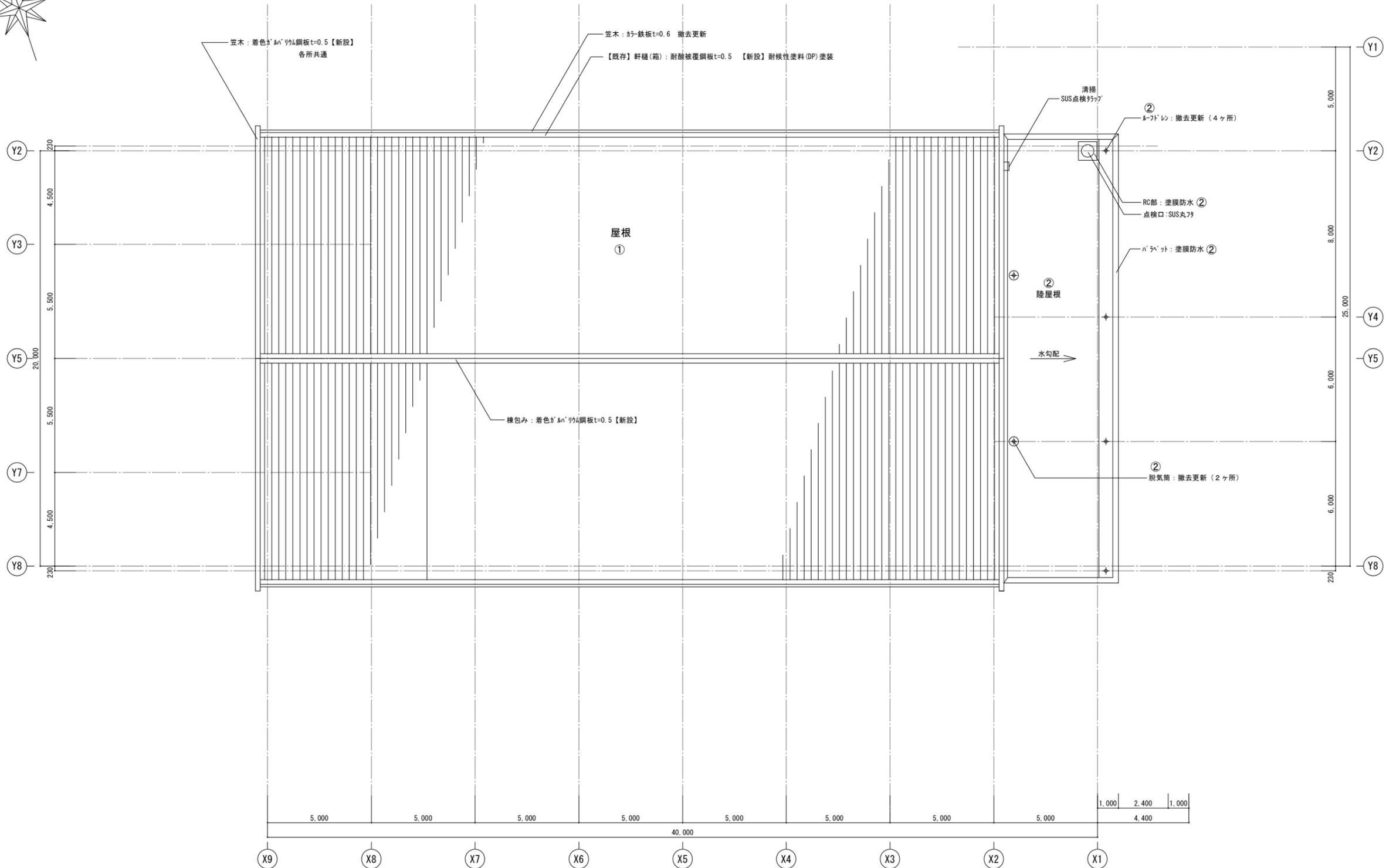


4階平面図 S=1/100

海老名市
Ebina City



図面名称	4階平面図	図面番号	A-10
縮尺	1/100 (1/200)	件名	海老名市立有馬小学校ほか1校屋内運動場外装改修工事



R階平面図 S=1/100

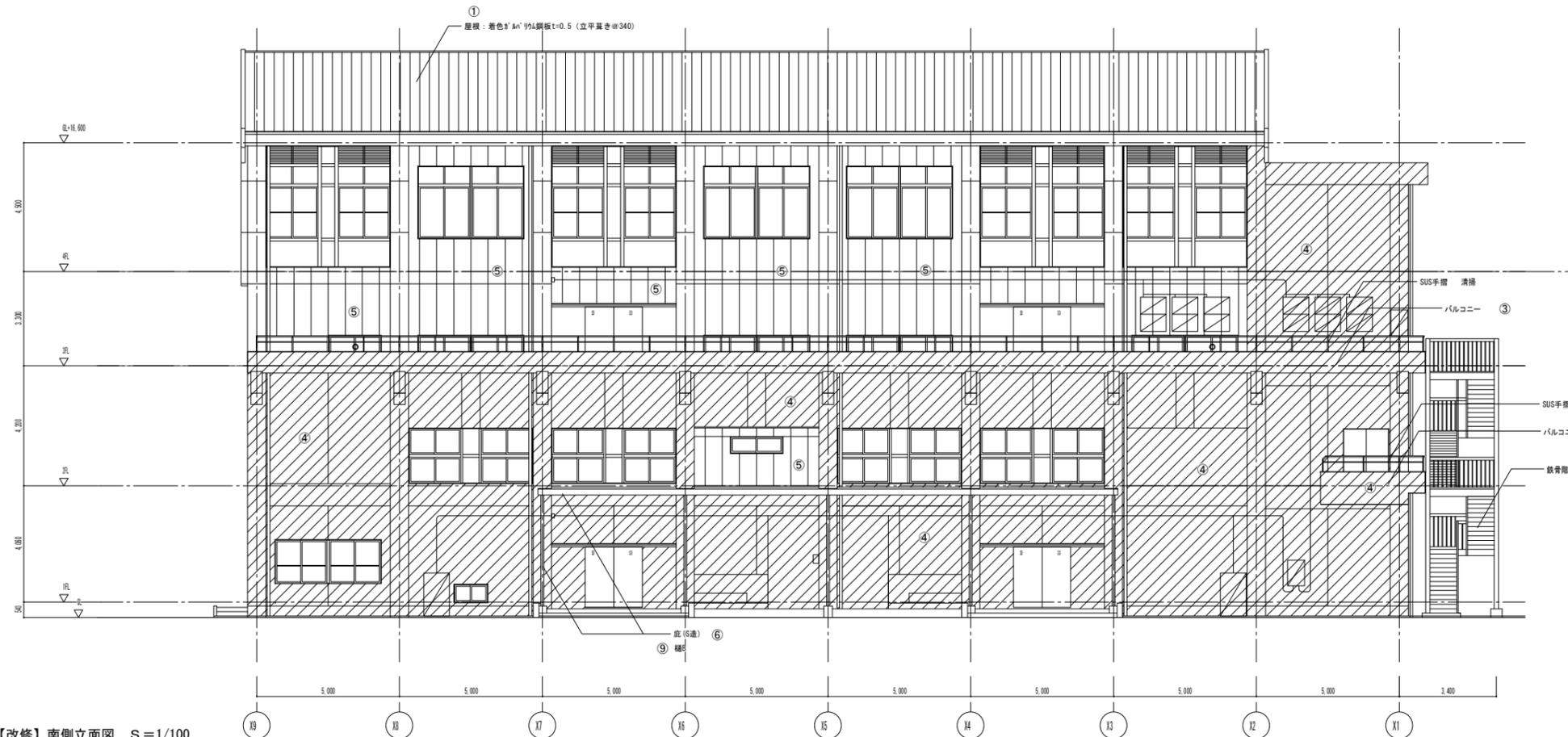




【既存】南側立面図 S=1/100

取外し再取付を行う設備機器（壁面設置）

- ★ 防犯カメラ（外部足場に移動）
- 防犯カメラ
- 出入口プロット照明
- ・パトライト

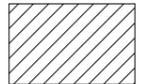


【改修】南側立面図 S=1/100

想定補修範囲（外壁全体）

ひび割れ（0.2mm以上1.0mm以下）	80.5㎡
ひび割れ（1.0mm超）	80.5㎡
浮き部分	131㎡
爆裂部	342箇所
欠損部	342箇所

※上記ひび割れ等は外壁調査を行い、
 図面・数量調査等の資料を作成し報告すること。
 ※補修範囲は監督員等と協議のうえ決定する。
 ※外壁アスベスト除去工事および塗装工事に伴い、図中記載の
 機器・設備配管等はすべて取り外し、再取付復旧する。ただし
 取り外すことにより施設運営に影響があるもの等、取り外しに
 支障があるものは存置とする。竣工図にはアスベストの残存
 箇所を明示すること。

 7スチ含有仕上塗材撤去範囲

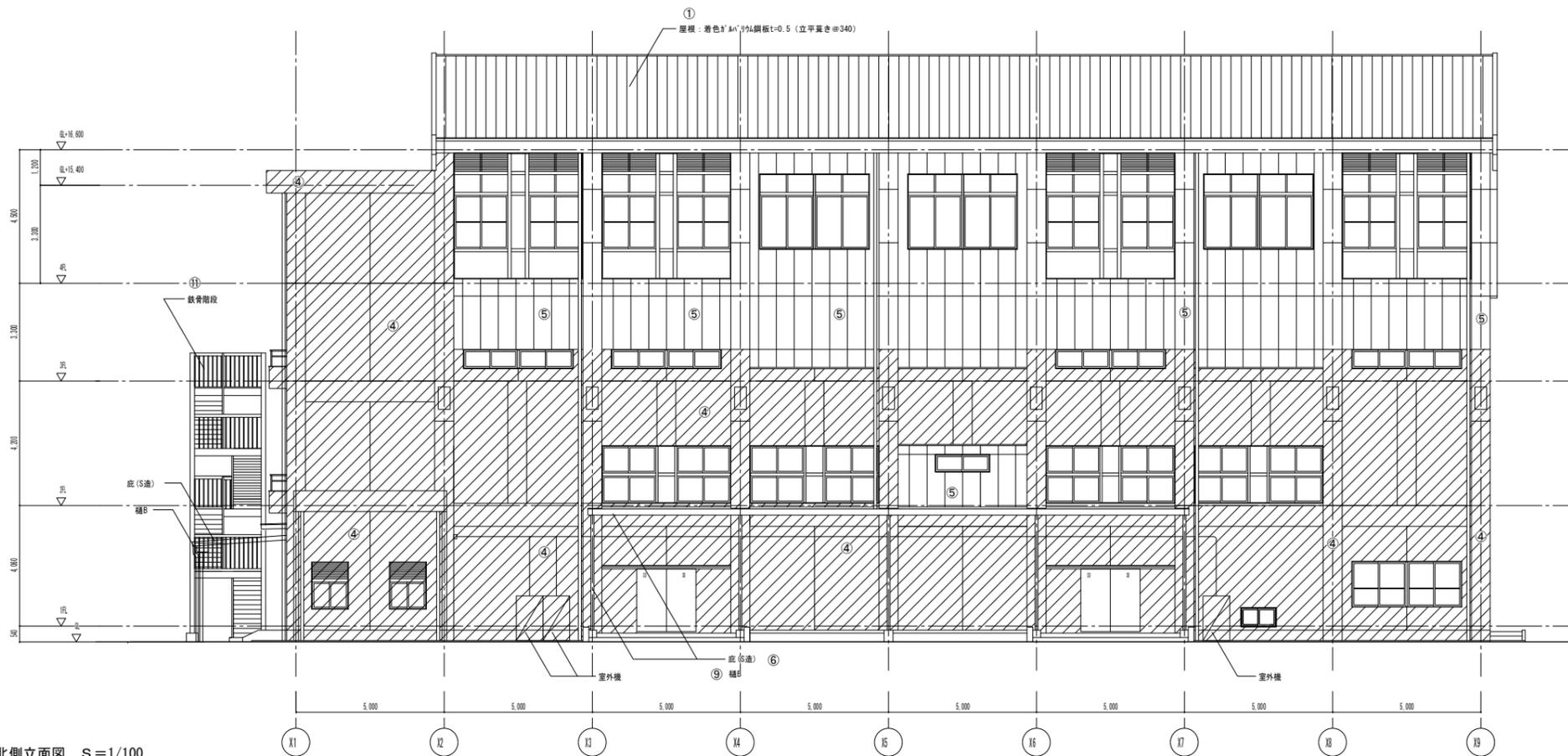




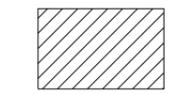
【既存】北側立面図 S=1/100

取外し再取付を行う設備機器（壁面設置）

- ★ ・防犯カメラ（外部足場に移動）
- ・防犯カメラ
- ・出入口ドアライト照明

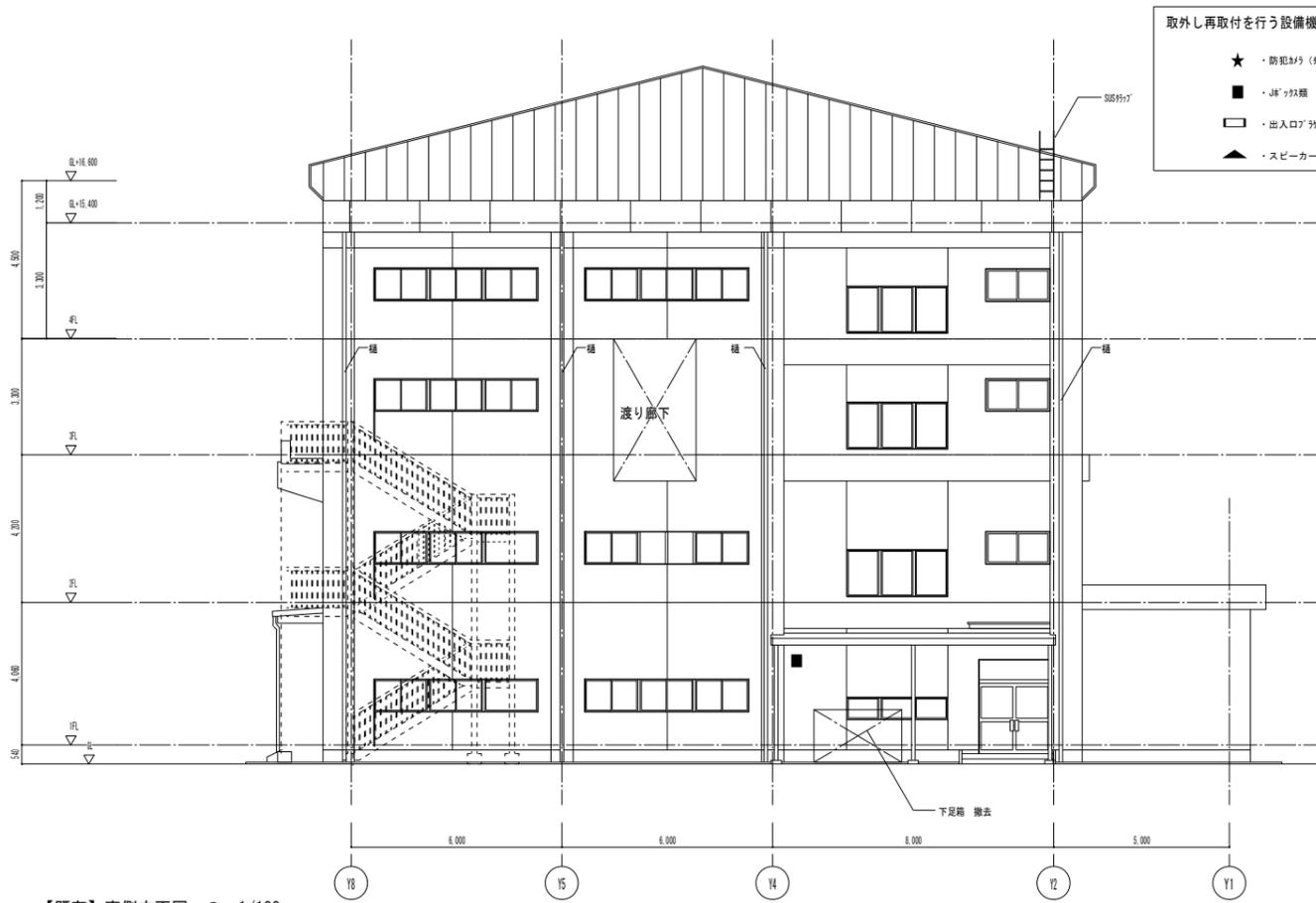


【改修】北側立面図 S=1/100

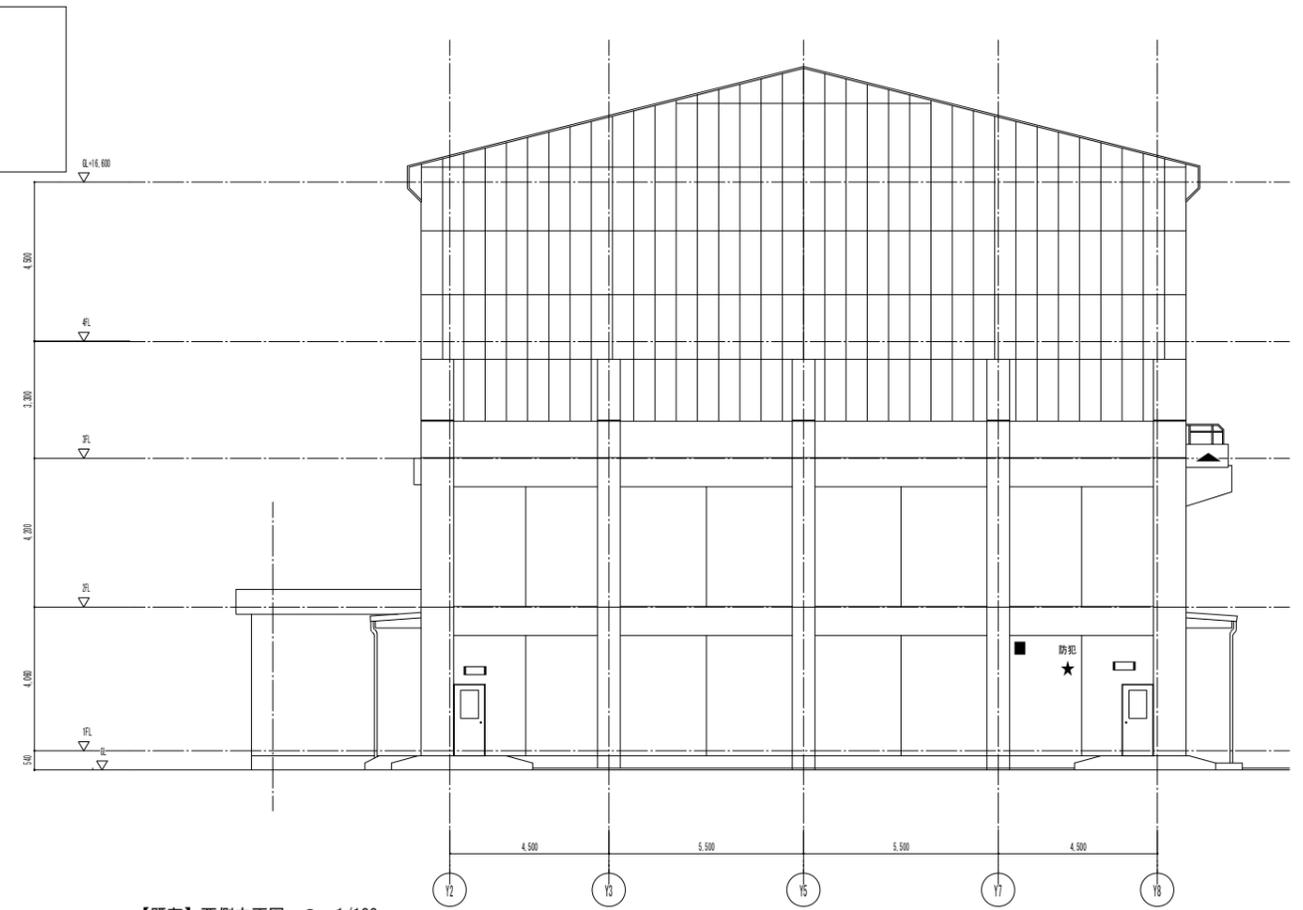


7.5㎡ 以上含有仕上塗材撤去範囲

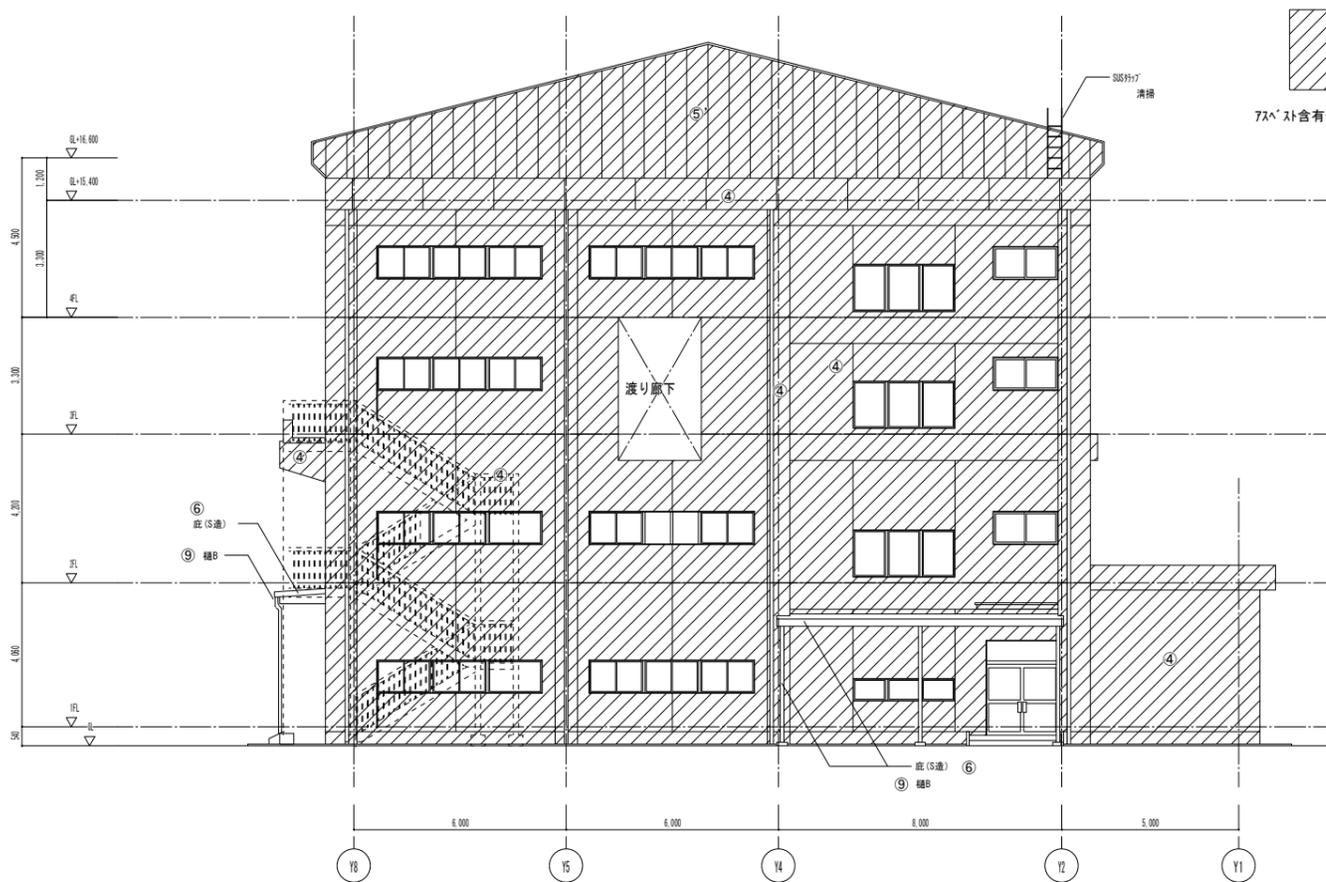




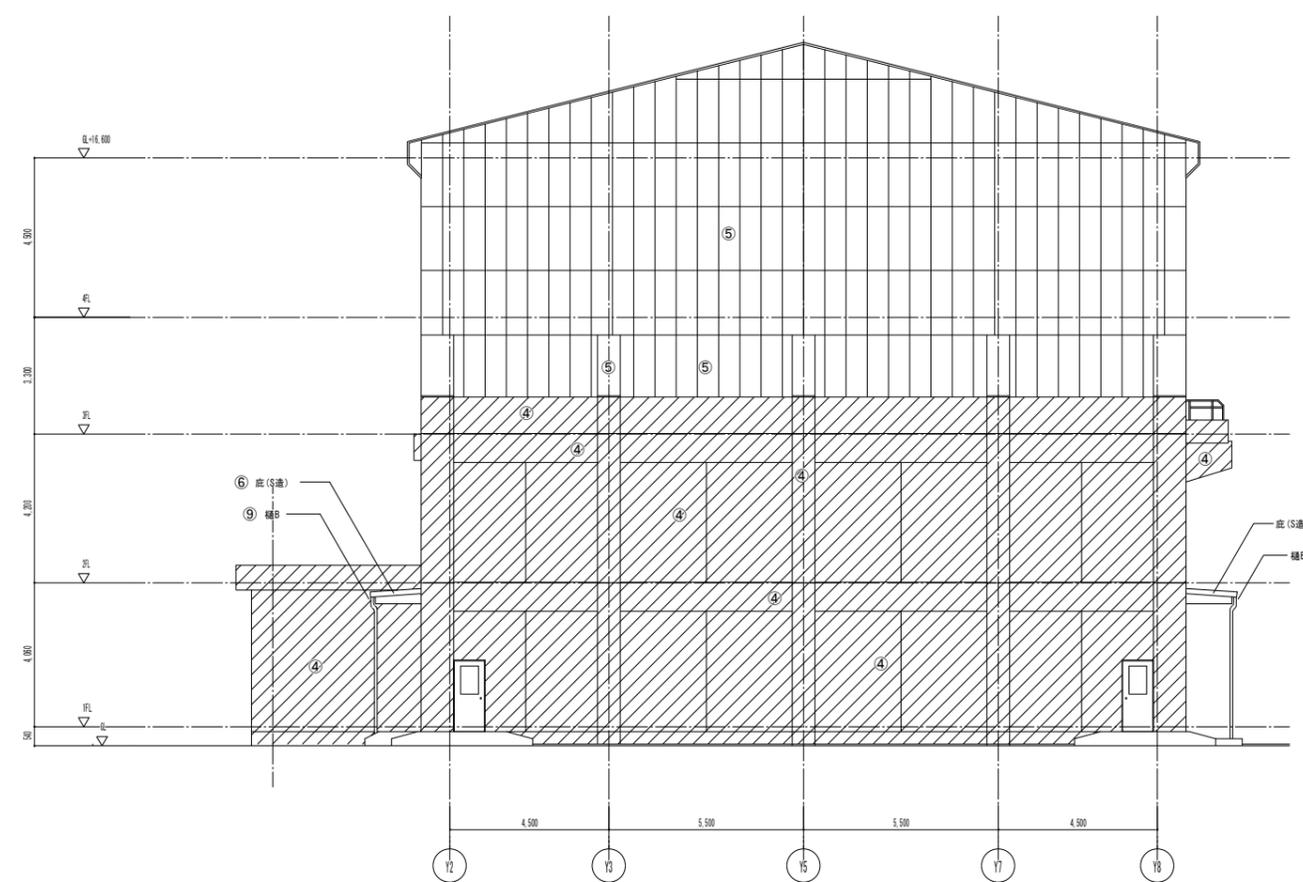
【既存】東側立面図 S=1/100



【既存】西側立面図 S=1/100

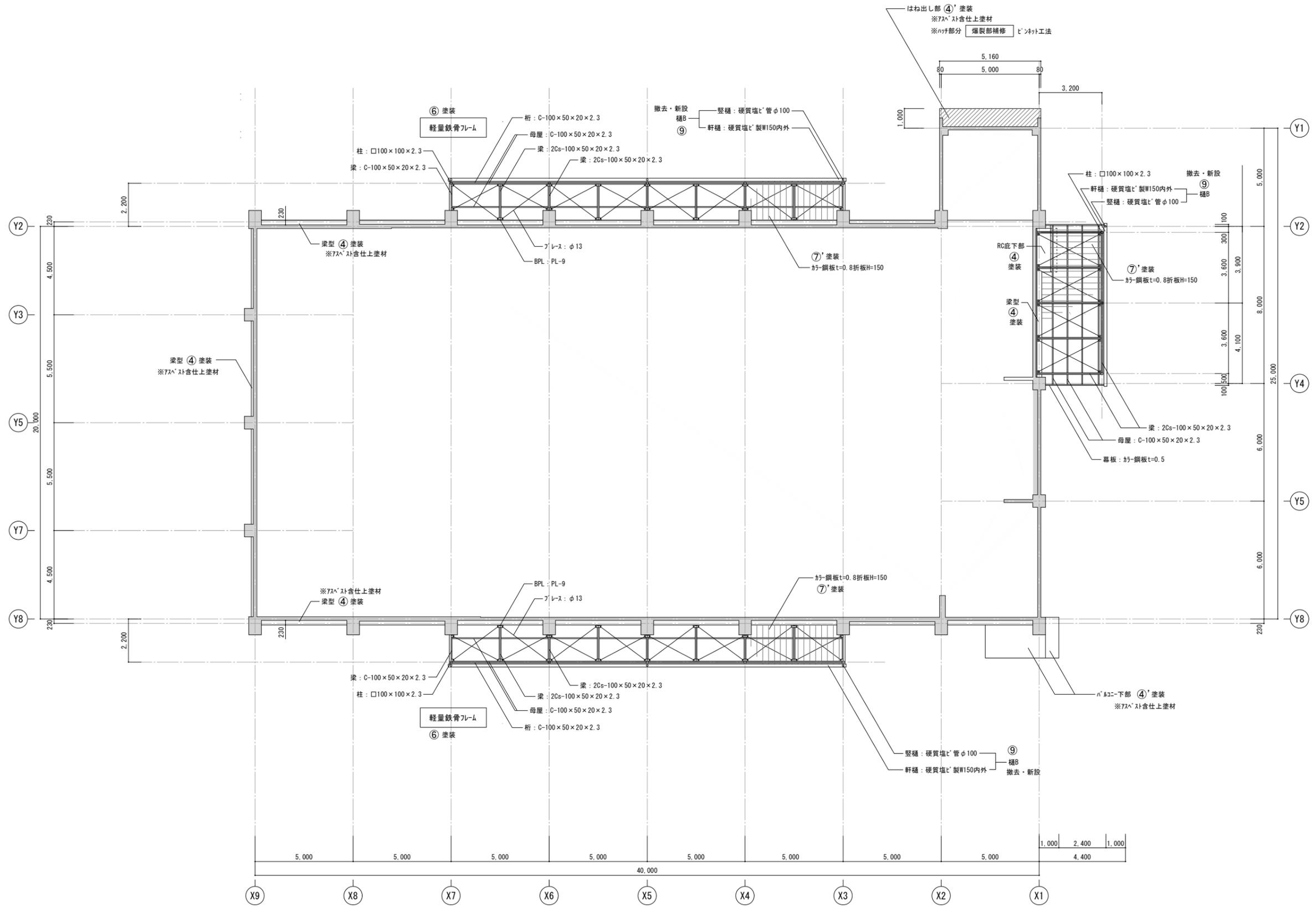


【改修】東側立面図 S=1/100



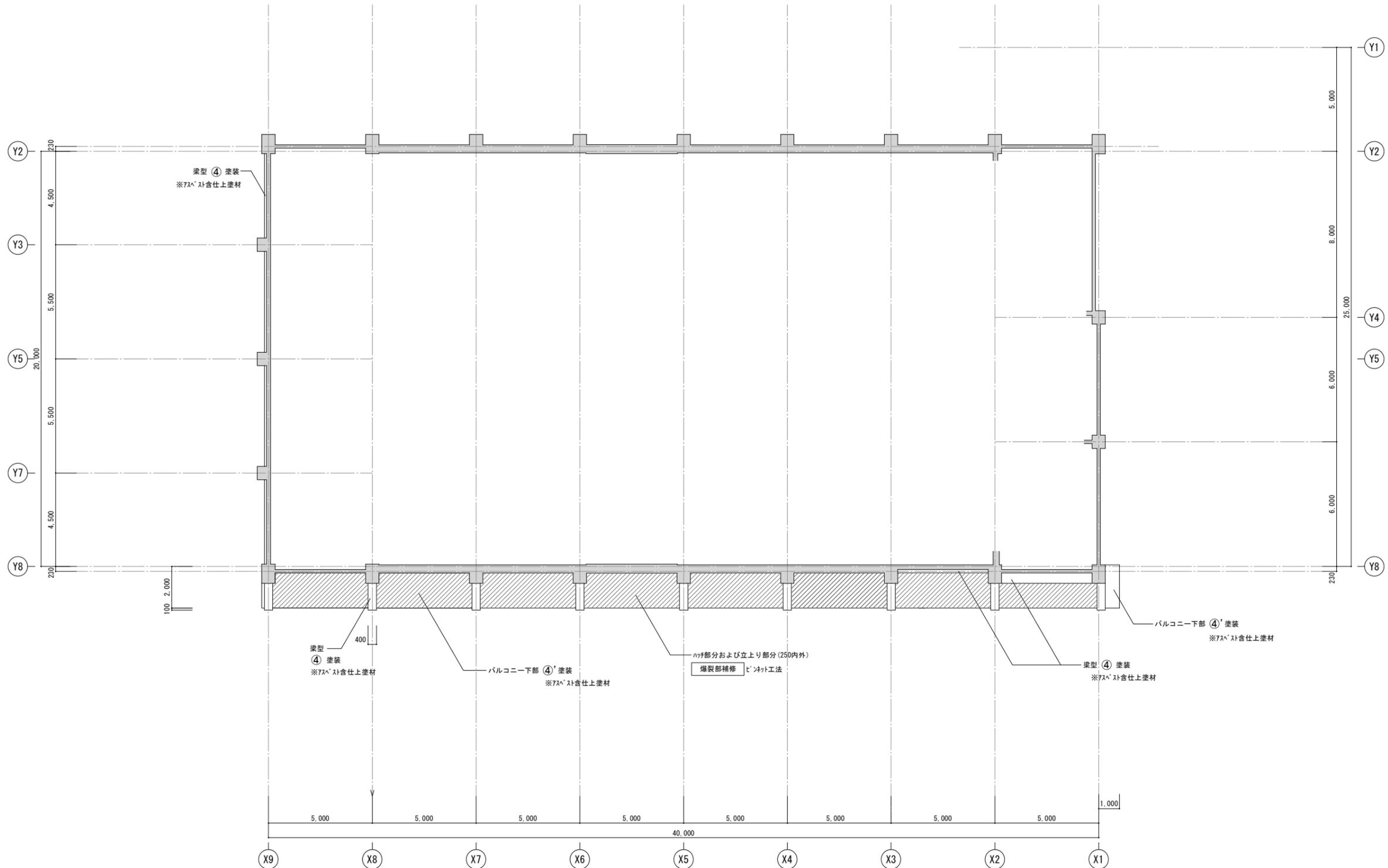
【改修】西側立面図 S=1/100





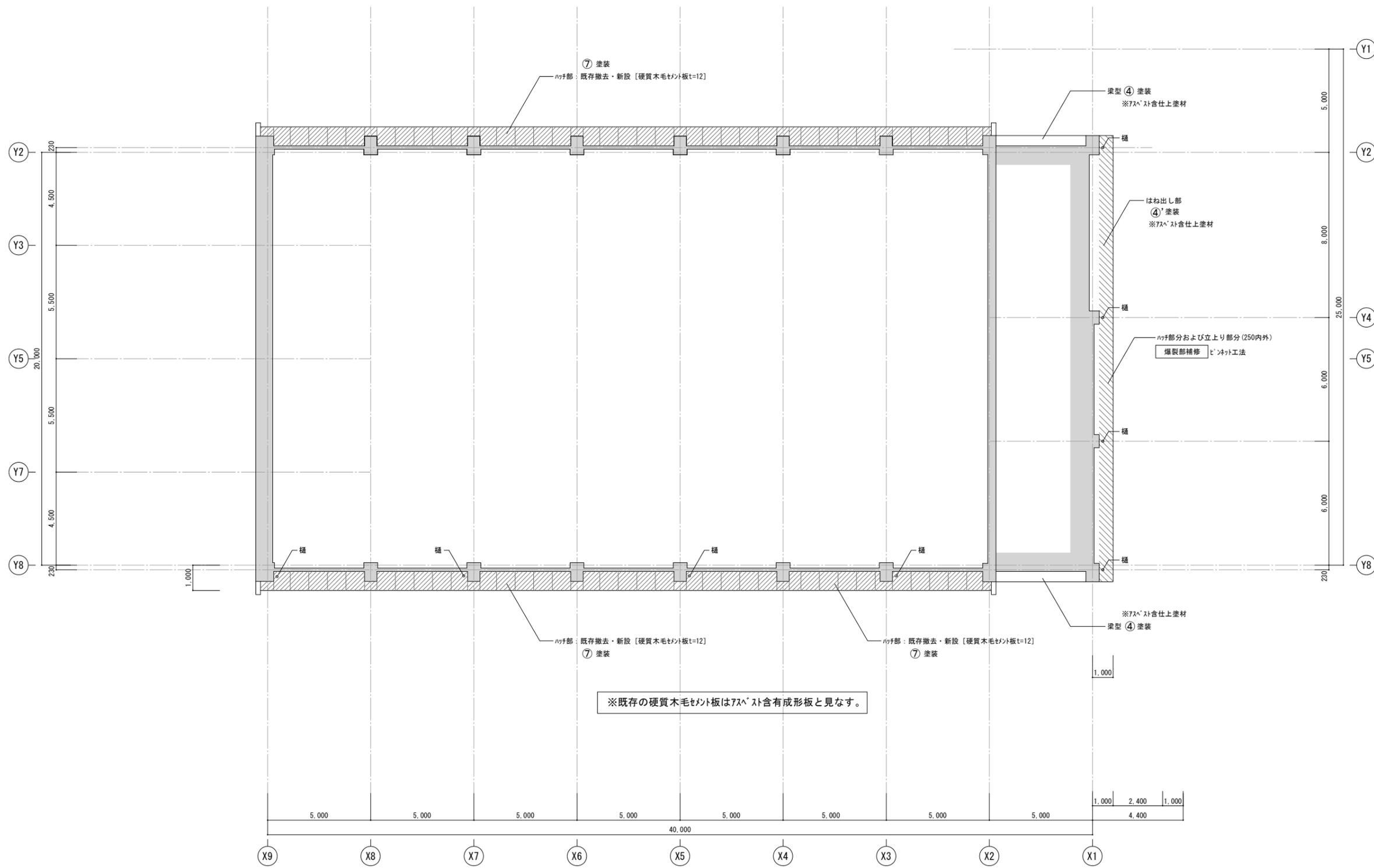
1階軒裏伏図 S=1/100





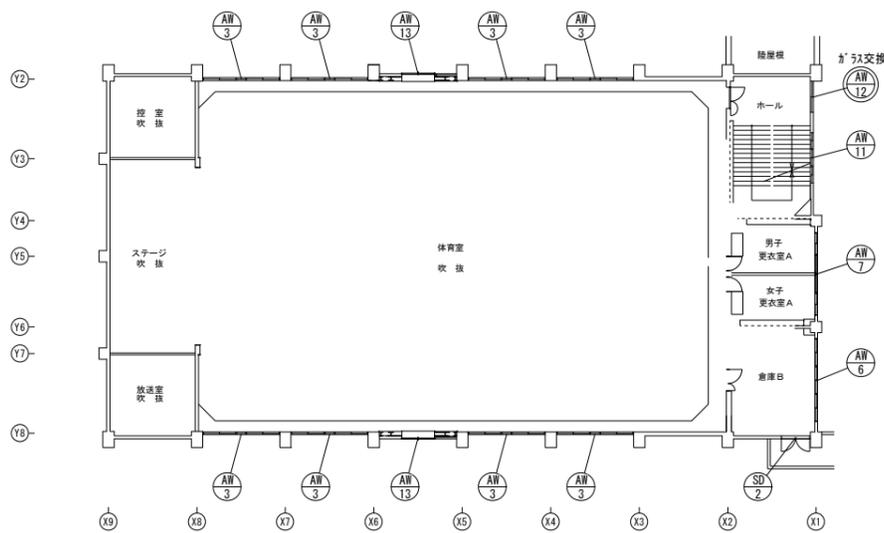
2階軒裏伏図 S=1/100



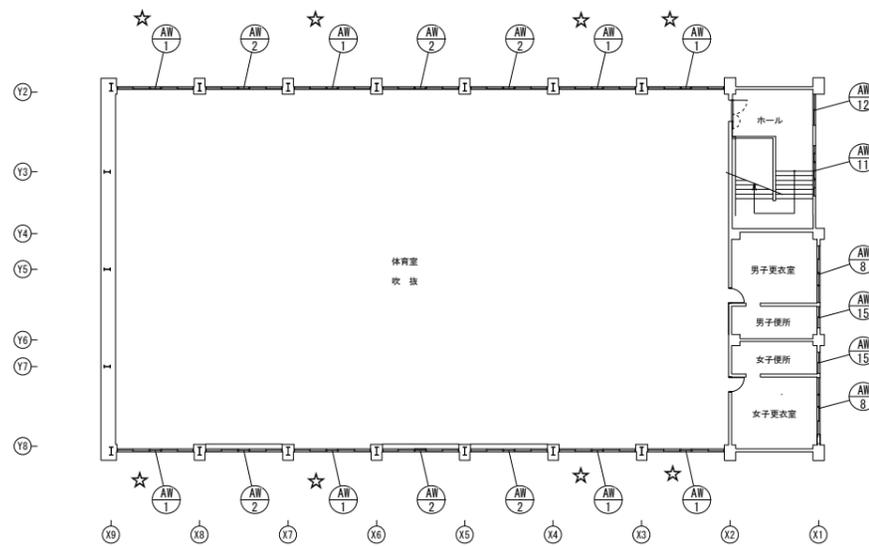


4階軒裏伏図 S=1/100

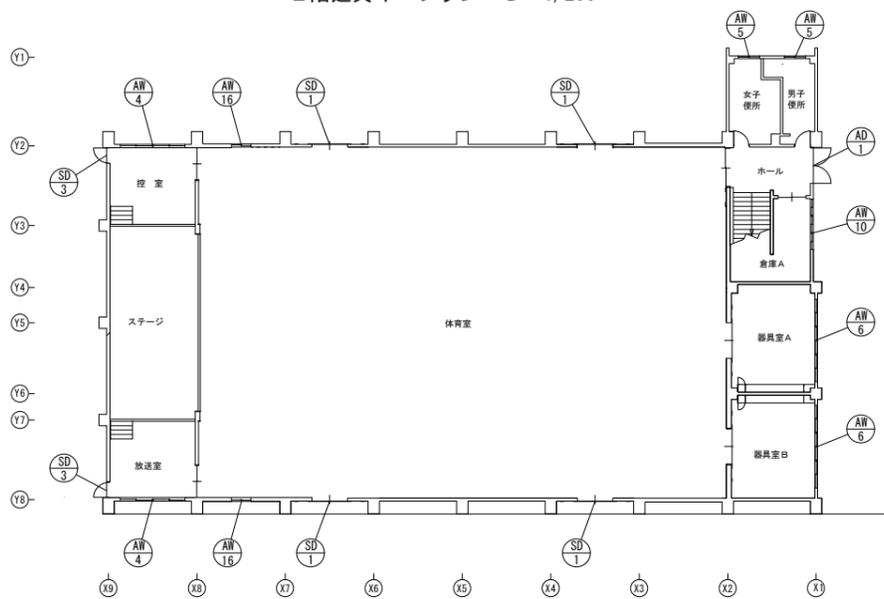




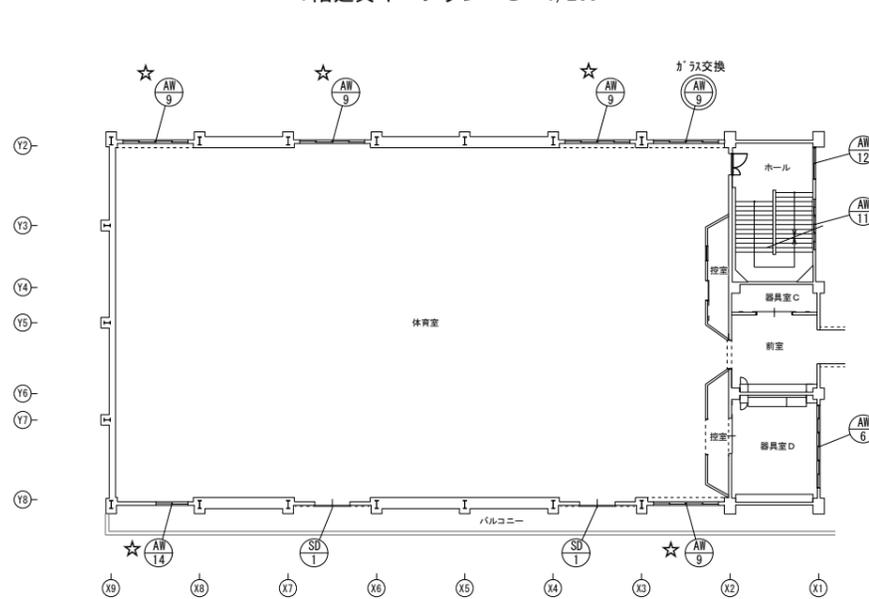
2階建具キープラン S=1/200



4階建具キープラン S=1/200



1階建具キープラン S=1/200



3階建具キープラン S=1/200

建具表

※共通事項：建具廻りシリング打ち替え、ガラス(外部のみ)打ち替え

符号	SD 1	6ヶ所	1階、3階体育室
図面			
摘要	引分けハーフドア スチールラッシュ ドア見込40mm		
改修内容	仕上	既存SOP塗装 新設:DP塗装	
	ガラス	既存SOP塗装 新設:DP塗装	
備考	金物	建具調整	
	備考	建具調整	
符号	SD 2	1ヶ所	2階倉庫B
符号	SD 3	2ヶ所	1階放送室、控室
図面			
摘要	両開きドア スチールラッシュ 見込100mm		片開きドア スチールラッシュ 見込100mm
改修内容	仕上	既存SOP塗装 新設:DP塗装	
	ガラス	既存SOP塗装 新設:DP塗装	
備考	金物	既存PWG6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)	
	備考	建具調整	
備考	建具調整		建具調整、ガラス面:内外清掃

建具表

符号	AD 1	1ヶ所	1階ホール	AW 1	8ヶ所	4階ギャラリー	AW 2	6ヶ所	4階ギャラリー	AW 3	8ヶ所	2階ギャラリー	AW 4	2ヶ所	1階放送室、控室	AW 5	2ヶ所	1階男子便所、女子便所
図面																		
摘要	ラン付片面開きドア 7&ミサツ 7&ミ付処理 SUS番摺			7&ミカーテンロール 7&ミ付処理			2段2連引違い窓 7&ミサツ 7&ミ付処理 7&ミ水切			FIX付2段2連引違い窓 7&ミサツ 7&ミ付処理 7&ミ水切			2連引違い窓 7&ミサツ 7&ミ付処理 7&ミ水切			引違い窓 7&ミサツ 7&ミ付処理 7&ミ水切		
改修内容	仕上																	
	ガラス	既存PWLG6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存PWG6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り・北面) 遮熱フィルム(外貼り・南面)			既存PWG6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り・北面) 遮熱フィルム(外貼り・南面)			既存FLG3 新設:飛散防止フィルム(外貼り・北面) 遮熱フィルム(外貼り・南面)			既存PWG6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り・北面) 遮熱フィルム(外貼り・南面)			既存PWG6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)	
備考	金物	建具調整、内外清掃			クレセント交換(★)×8ヶ所 建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃				
	備考	建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃				

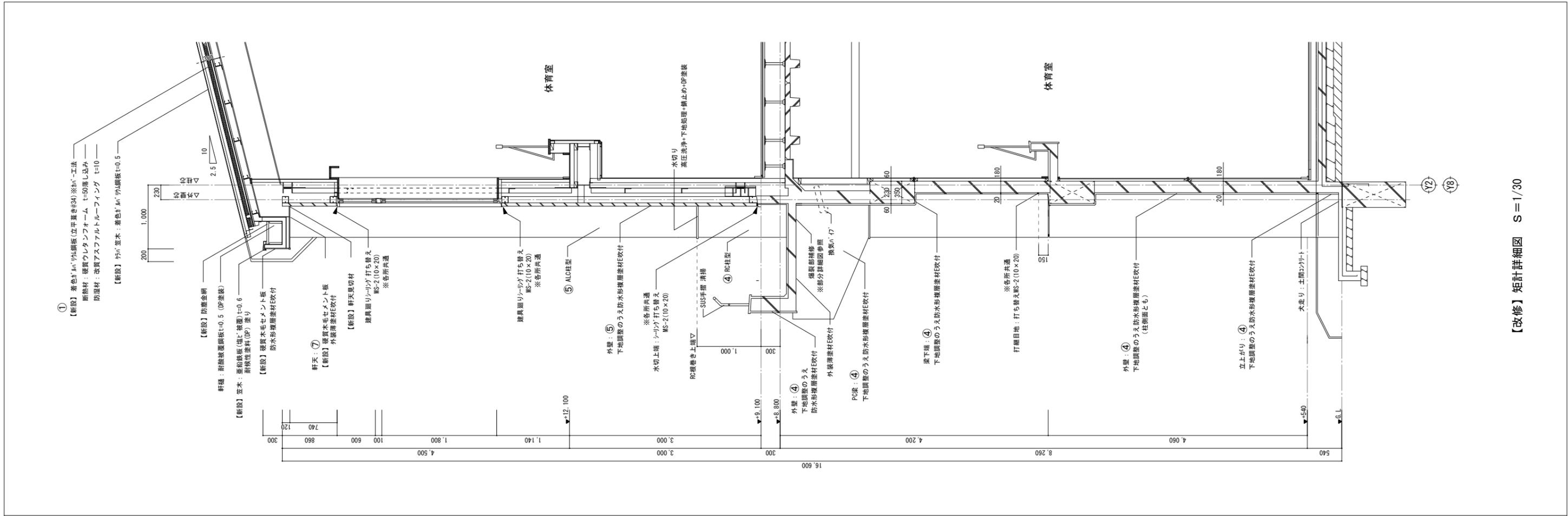
☆ クレセント交換



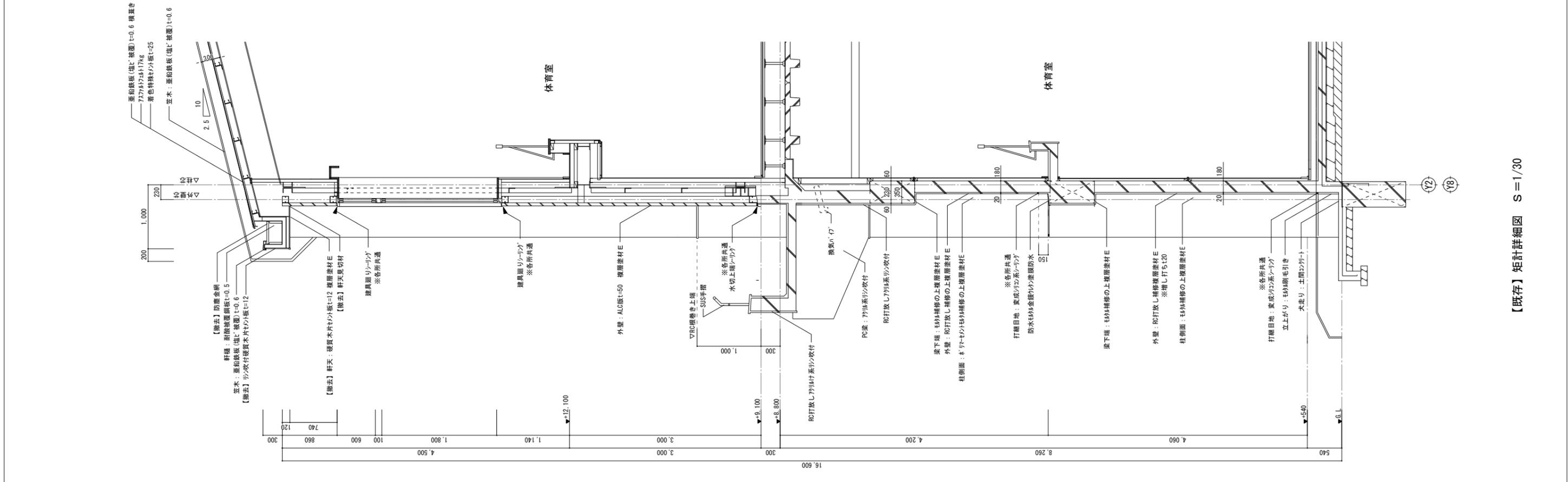
建具表

符号	AW6	4ヶ所	1階器具室A・B、2階倉庫B、3階器具室D	AW7	1ヶ所	2階男女更衣室A	AW8	2ヶ所	4階男女更衣室A	AW9	5ヶ所	3階体育室	AW10	1ヶ所	1階倉庫A	AW11	3ヶ所	2階・3階・4階 階段室	
	3連引違い窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			両袖引違い2連FIX窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			2連FIX付引違い窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			2連引違い窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			3連スベリ出し窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			3連FIX窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			
	改修内要	仕上	既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存FNL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り・北面) 遮熱フィルム(外貼り・南面)			既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)	
ガラス		既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存FNL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り・北面) 遮熱フィルム(外貼り・南面)			既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)		
備考		建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃			サッシ交換(★)×4ヶ所 ガラス交換(1ヶ所)※キープラン図示 建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃		
符号	AW12	3ヶ所	2階・3階・4階 ホール	AW13	2ヶ所	2階ギャラリー	AW14	1ヶ所	3階体育室	AW15	2ヶ所	4階男子便所、女子便所	AW16	2ヶ所	1階体育室				
	引違い窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			引違い窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			引違い窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			引違い窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切			引違い窓 7&ミツッ 7&ナイト処理 7&ミ水切						
	改修内要	仕上	既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存PWG.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り・北面) 遮熱フィルム(外貼り・南面)			既存PWL6.8 新設:遮熱フィルム(外貼り)			既存PWL6.8 新設:遮熱フィルム(外貼り)			既存7&ミA 42+3mm				
ガラス		既存PWL6.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り)			既存PWG.8 新設:飛散防止フィルム(外貼り・北面) 遮熱フィルム(外貼り・南面)			既存PWL6.8 新設:遮熱フィルム(外貼り)			既存PWL6.8 新設:遮熱フィルム(外貼り)			既存7&ミA 42+3mm					
備考		建具調整、内外清掃 ガラス交換(1ヶ所)※キープラン図示			建具調整、内外清掃			サッシ交換(★)×1ヶ所 建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃			建具調整、内外清掃					





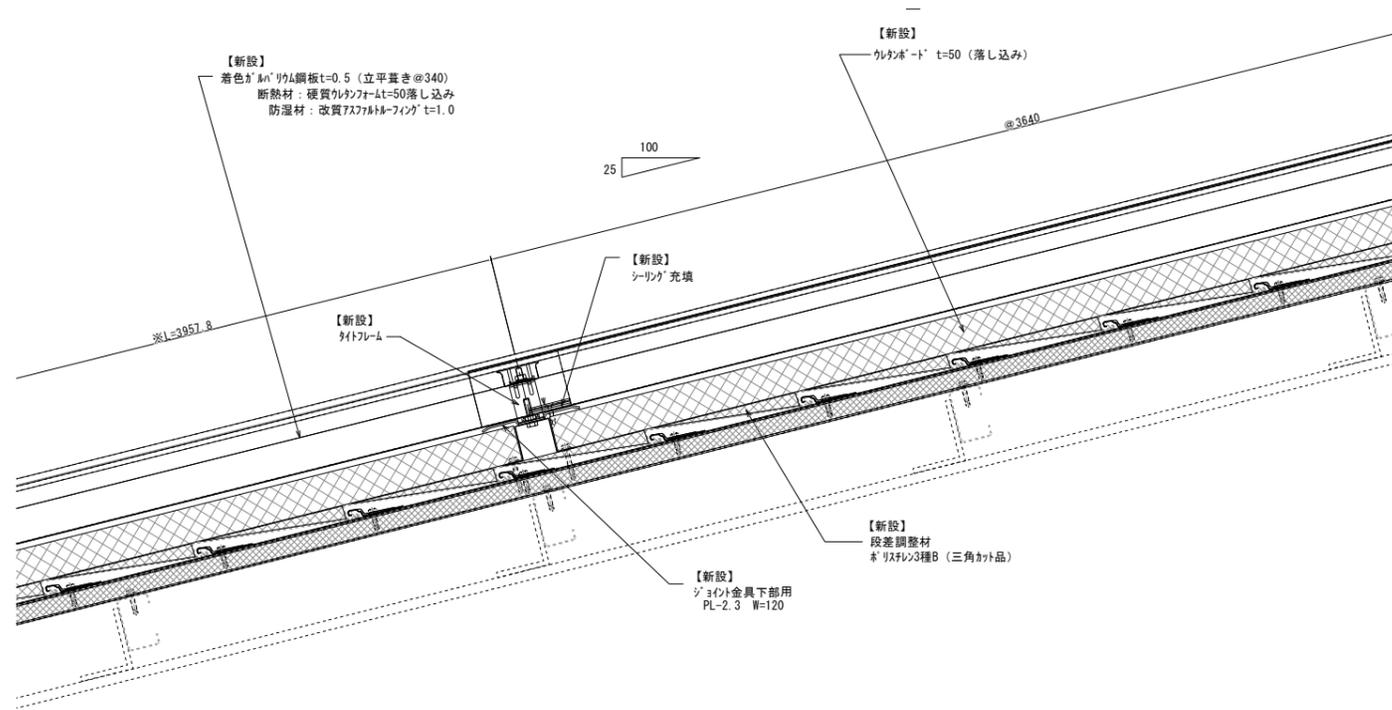
【改修】 矩計詳細図 S=1/30



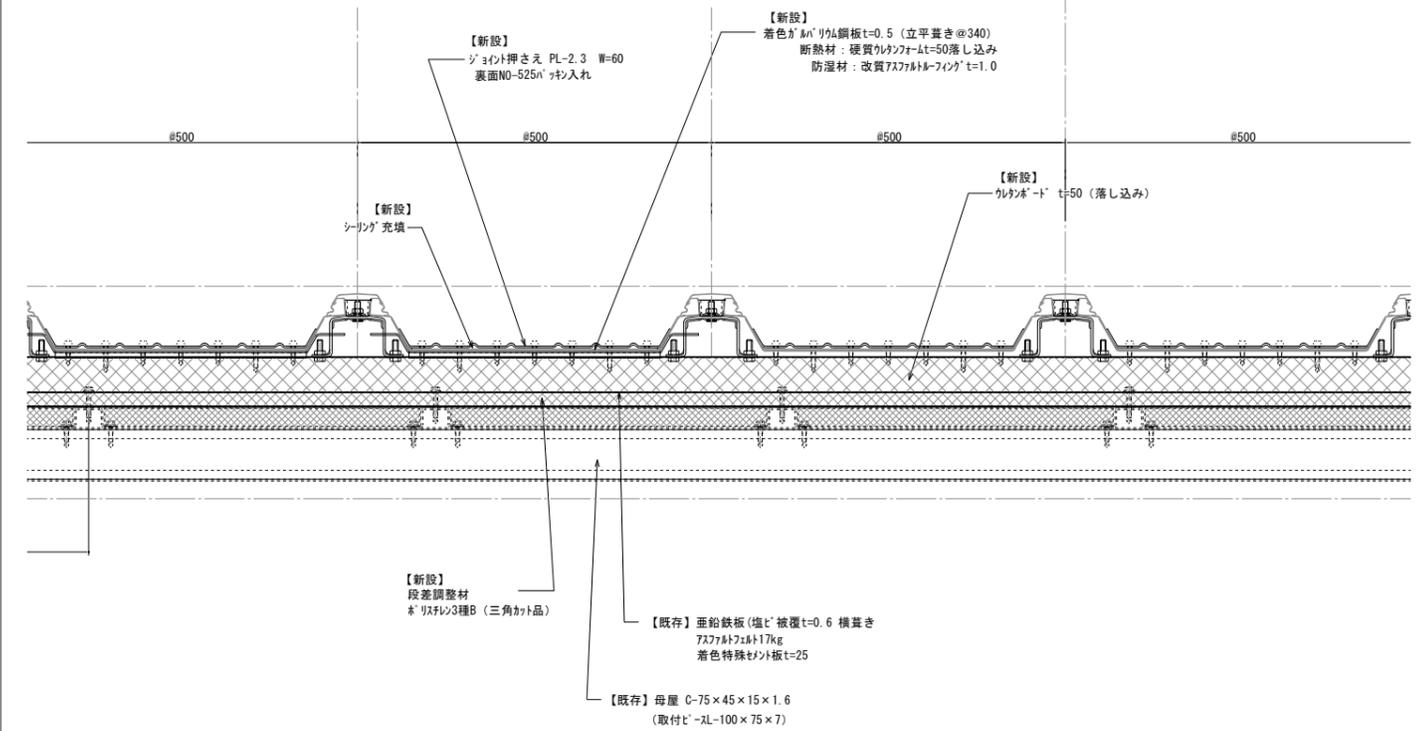
【既存】 矩計詳細図 S=1/30



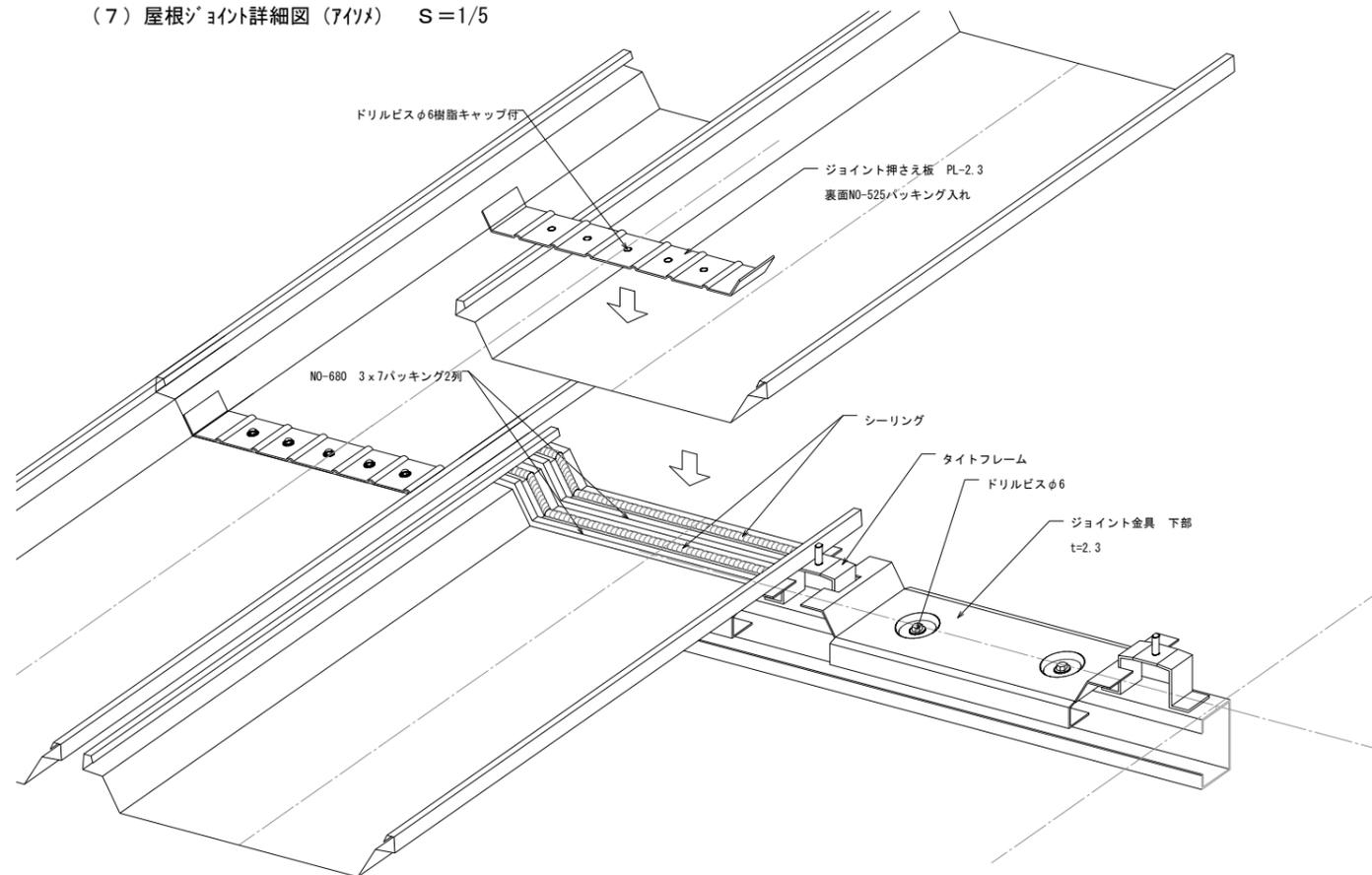
(5) 屋根ジョイント詳細図 S=1/5

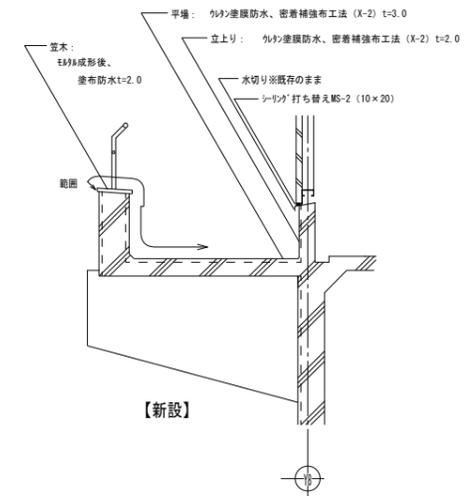
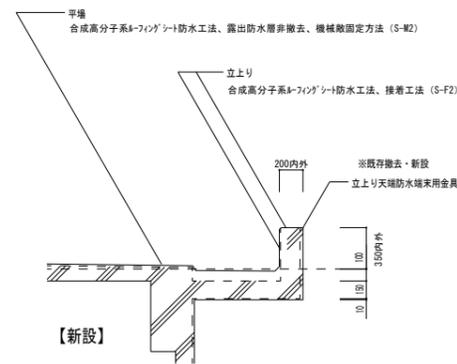
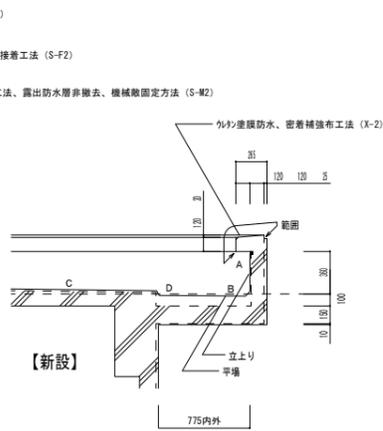
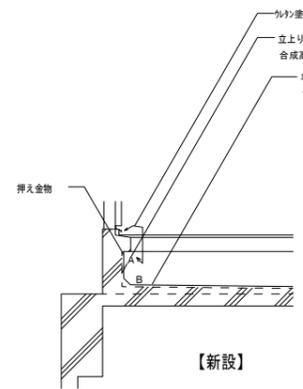
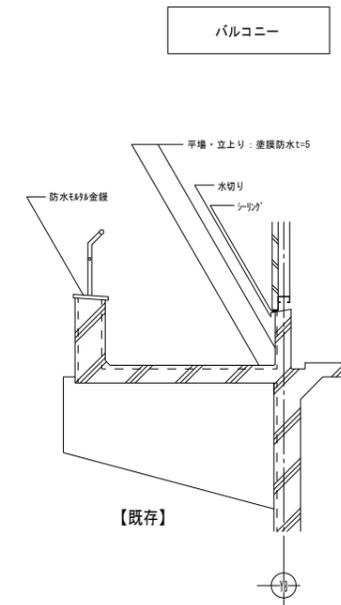
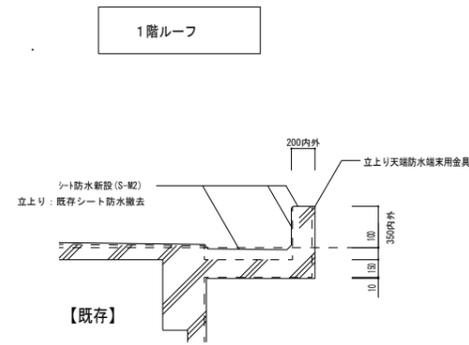
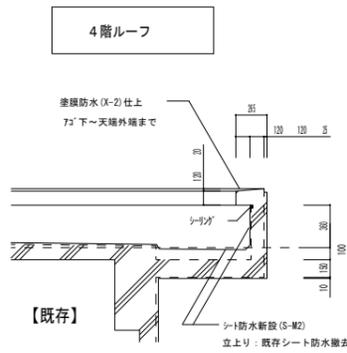
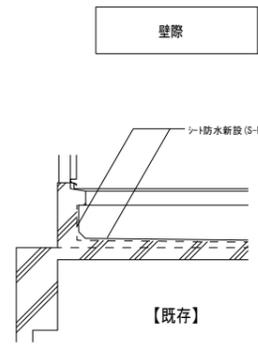


(6) 屋根ジョイント詳細図 (ケラハ方向) S=1/5



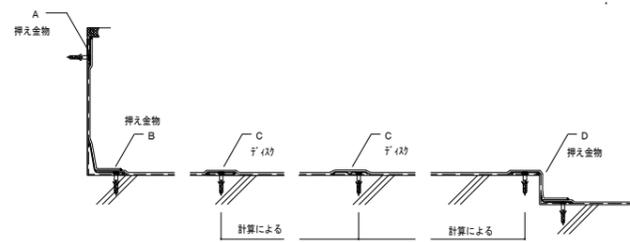
(7) 屋根ジョイント詳細図 (7/10) S=1/5





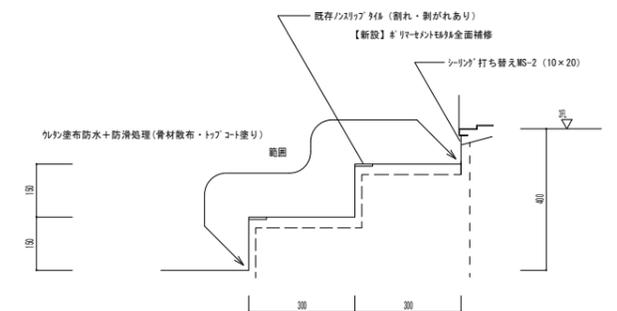
防水改修 (シート防水) 詳細図 S=1/30

防水改修 (塗膜防水) 詳細図 S=1/30

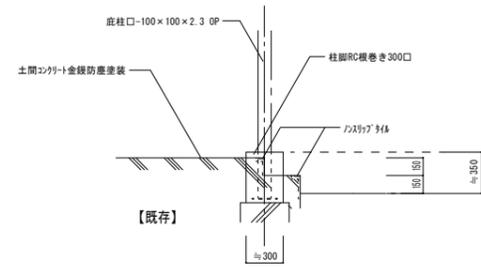


部分詳細図 NS

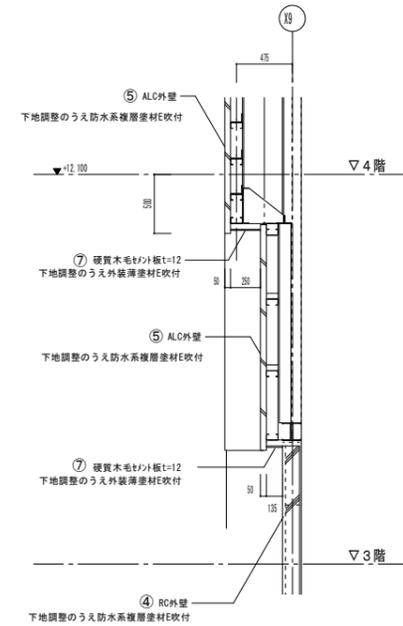
シート防水部分詳細図 S=1/30



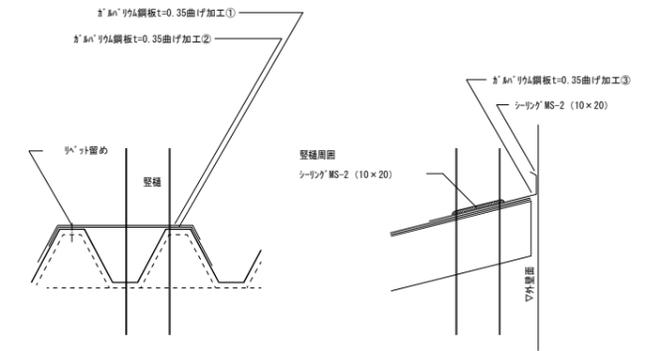
3階バルコニー出入口階段 S=1/10



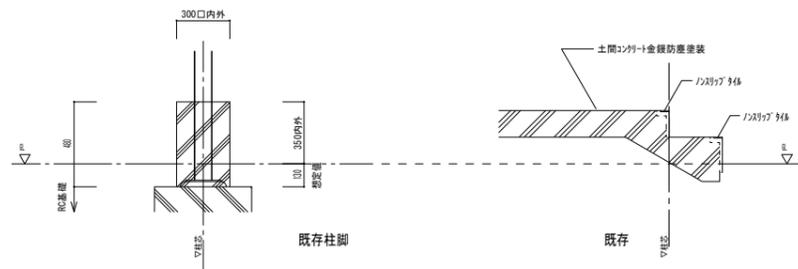
1階出入口階段詳細図 S=1/30



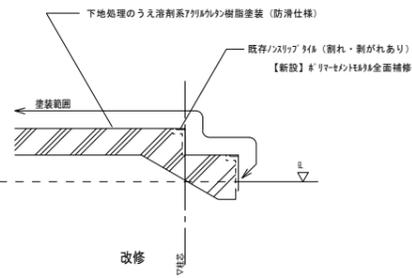
X9通り外壁フカン壁断面詳細図 S=1/30



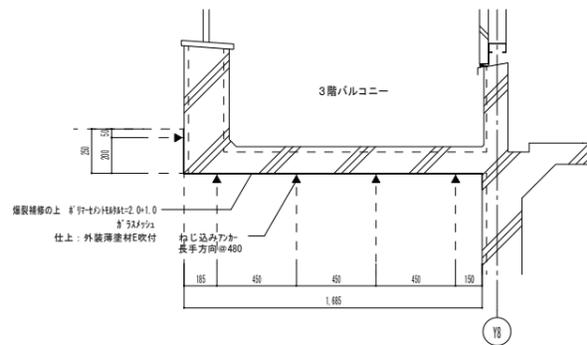
縦樋廻り折板底補修詳細図 S=1/10



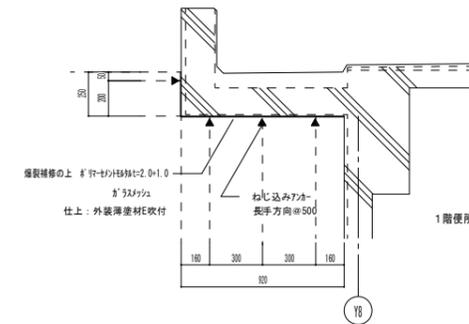
柱脚改修図 S=1/20



ノンスリップタイル改修図 S=1/20

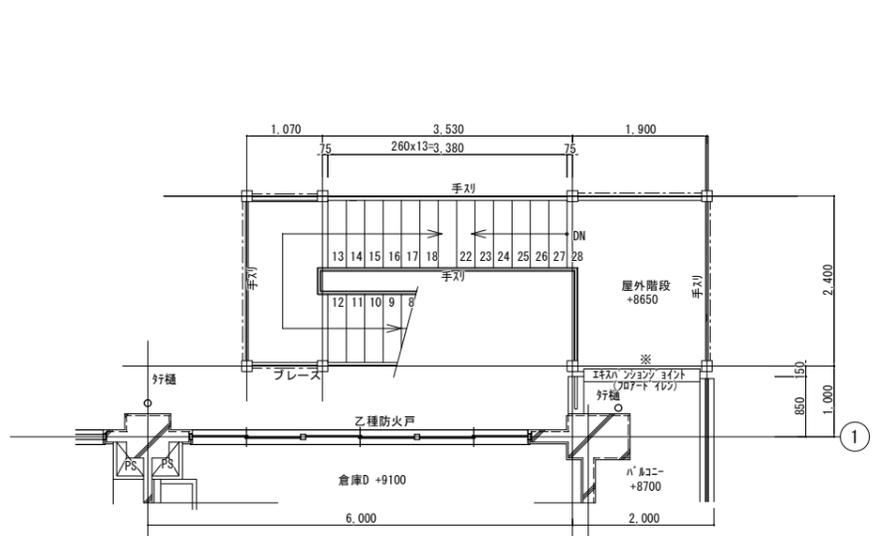


はね出し部分外壁複合改修工事ネット工法詳細図 S=1/20

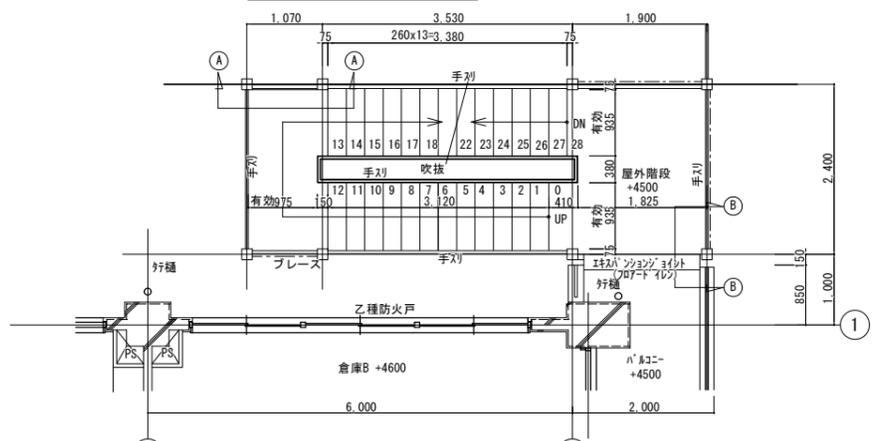


※施工前にアンカーピンを引抜強度試験を行うこと

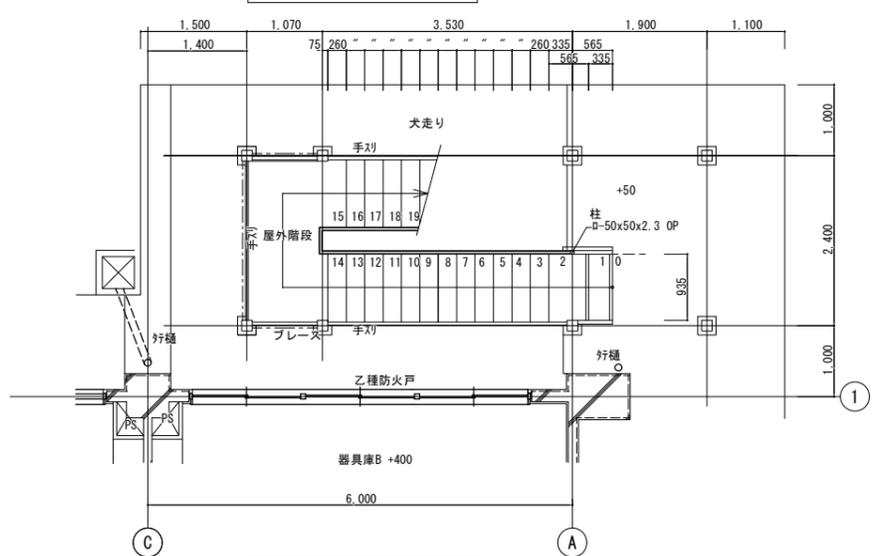




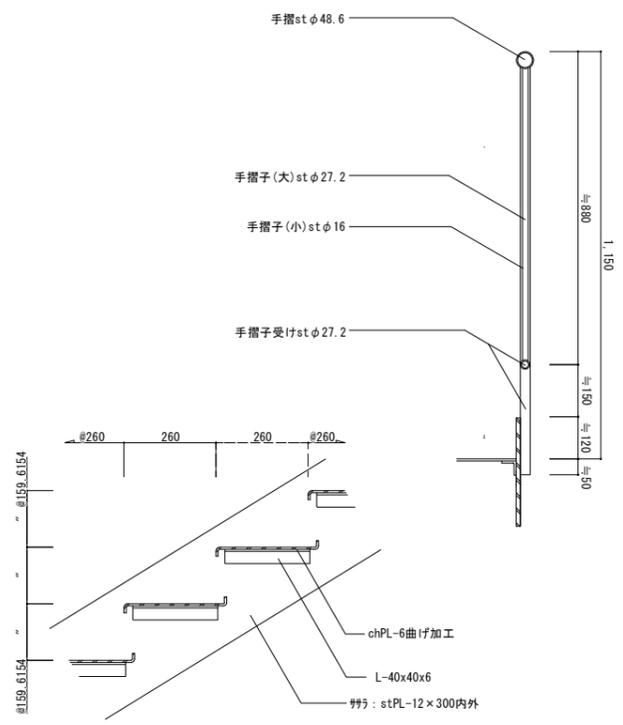
屋外階段2階平面詳細図 S=1:50



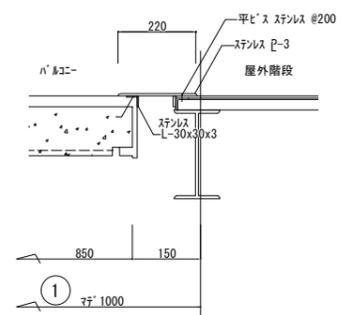
屋外階段2階平面詳細図 S=1:50



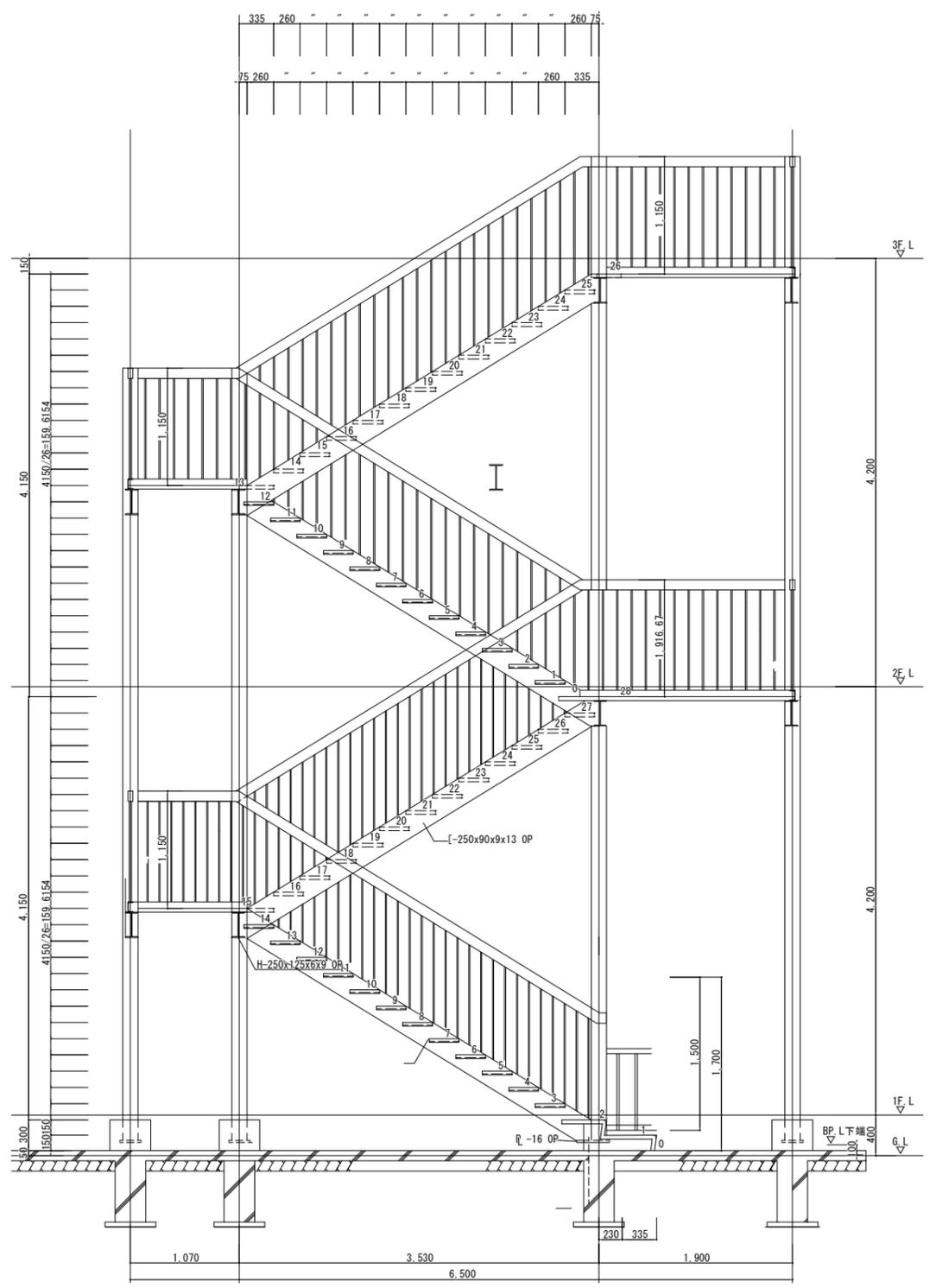
屋外階段1階平面詳細図 S=1:50



階段部分詳細図 S=1:10

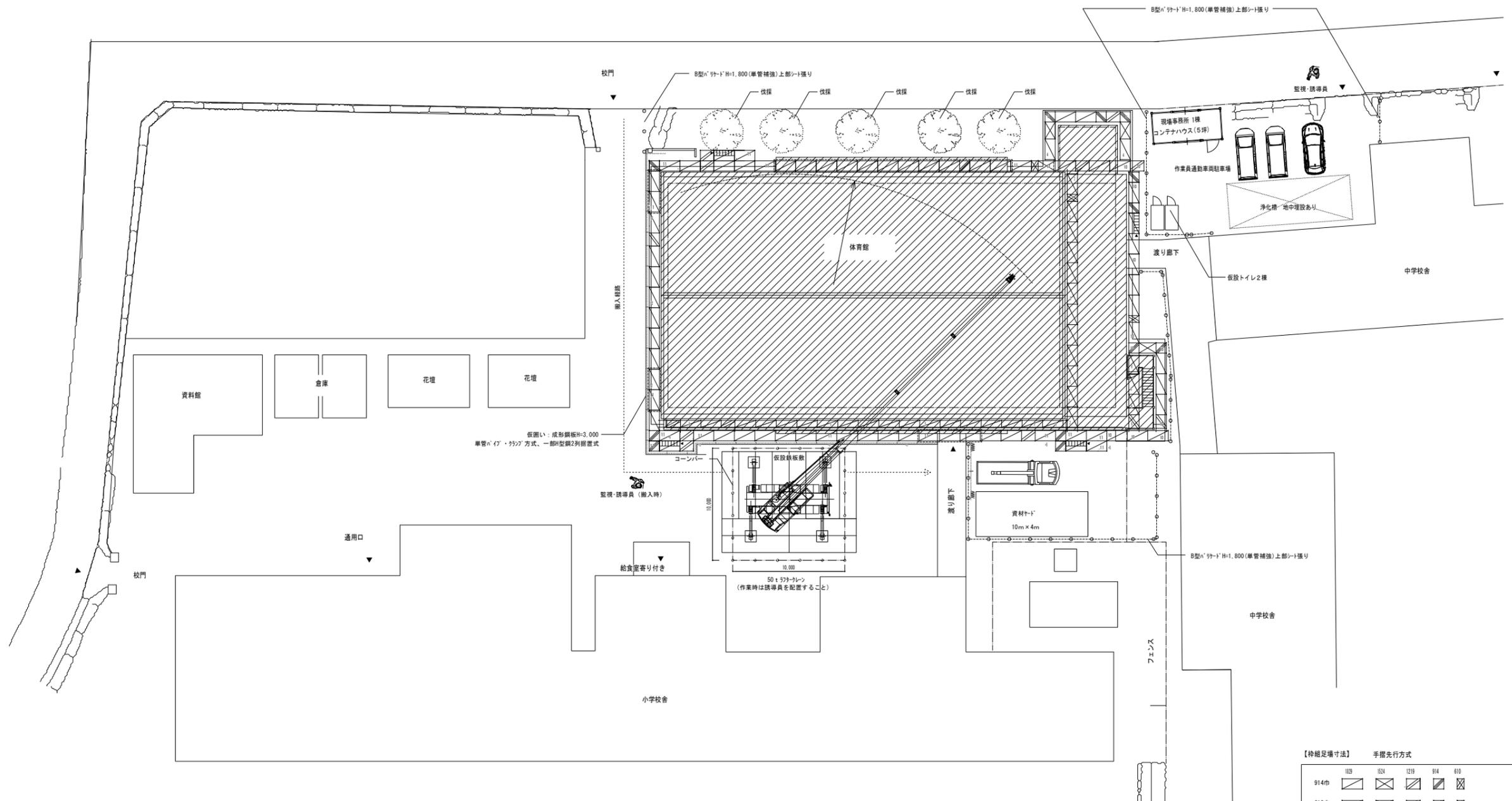


B-B 部分詳細図 S=1:10



屋外階段 断面詳細図 S=1:30





仮囲い：成形鋼板H=3,000
単管パイプ・ラップ方式、一部H型鋼2列設置式

50tトラック
(作業時は誘導員を配置すること)

【枠組足場寸法】 手摺先行方式

914巾	1129	1524	1219	914	610
610巾					

※図中の数字は段数を示す

積載荷重 (スパン)

	同一層連続	スパン数	同時積載層数
914幅	20k		1
610幅	25k		1

	外路側	内路側
労働者の墜落防止措置	先行手摺+巾木	筋違+巾木
物体落下墜落防止措置	メッシュ	層間+1(2段床)

